

岡山県の院内がん登録

2012～2017年登録症例の集計

岡山県がん診療連携協議会 がん登録部会

- がん診療連携拠点病院(7施設)

岡山大学病院

社会福祉法人恩賜財団済生会支部岡山県済生会 岡山済生会総合病院

岡山赤十字病院

公益財団法人大原記念倉敷中央機構 倉敷中央病院

一般財団法人津山慈風会 津山中央病院

独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター

学校法人川崎学園 川崎医科大学附属病院

- がん診療連携推進病院(4施設)

独立行政法人労働者健康安全機構 岡山労災病院

地方独立行政法人岡山市立総合医療センター 岡山市立市民病院

学校法人川崎学園 川崎医科大学総合医療センター

一般財団法人 倉敷成人病センター

- 地域がん診療病院(2施設)

社会医療法人緑社会 金田病院

医療法人清梁会 高梁中央病院

人口動態統計(2017年)

平成29年(2017年)の我が国の人口動態統計によると、年間死亡者数は**134万397人**で、**第1位が悪性新生物(その大部分は「がん」)**による死亡(37万3334人)、第2位は心疾患(20万4837人)、第3位は脳血管疾患(10万9880人)、第4位は老衰(10万1396人)でした。

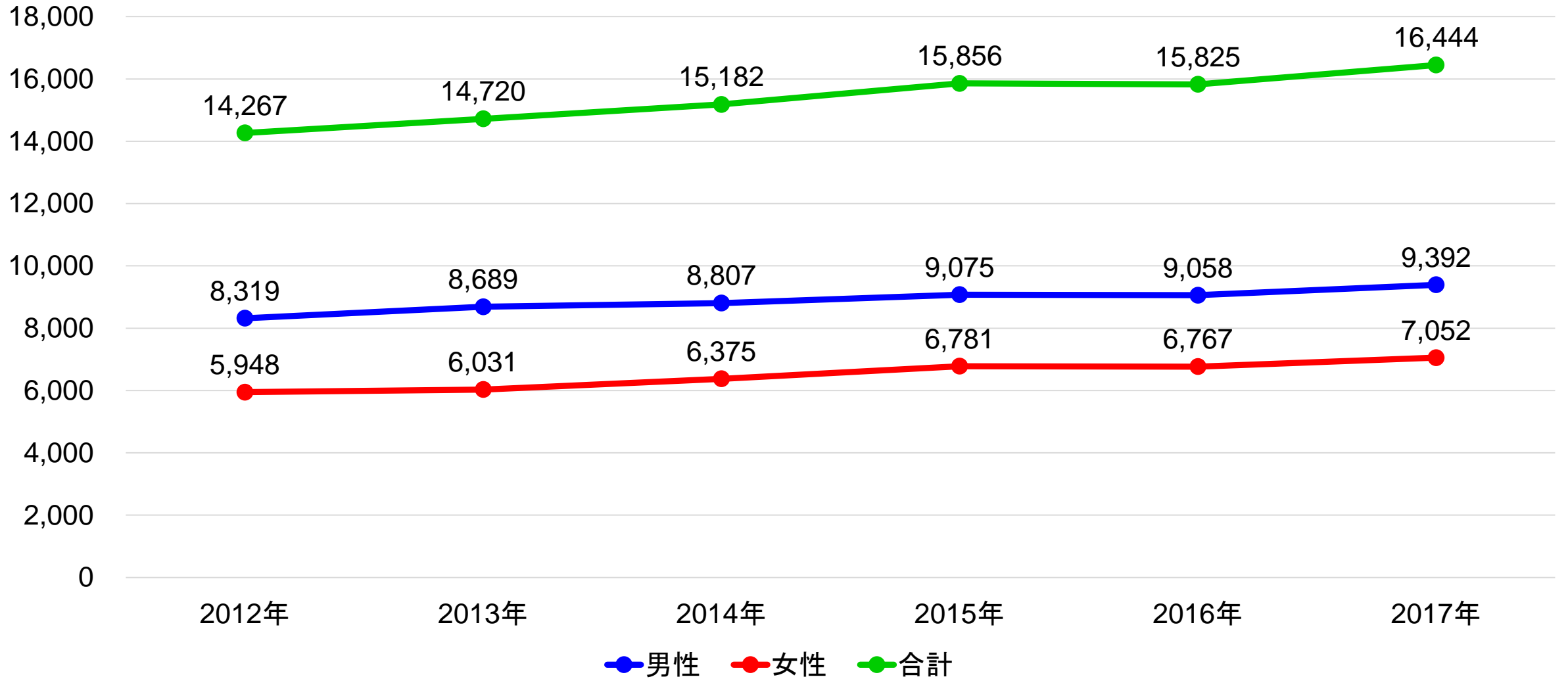
がんの部位別では、男性のがんによる死亡22万398人のうち**肺がん**が最も多く、次いで**胃がん**、**大腸がん**、**肝臓がん**、**膵臓がん**と続き、女性はがんによる死亡15万2936人のうち**大腸がん**が最も多く、次いで**肺がん**、**膵臓がん**、**胃がん**、**乳がん**でした。全体では、**肺がん**が最も多く、次いで**大腸がん**、**胃がん**、**膵臓がん**、**肝臓がん**でした。

国から都道府県がん診療連携拠点病院の指定を受けている岡山大学病院，地域がん診療連携拠点病院の指定を受けている岡山済生会総合病院，岡山赤十字病院，倉敷中央病院，津山中央病院，岡山医療センター，川崎医科大学附属病院の7施設，がん診療連携推進病院の指定を受けている岡山労災病院，岡山市立市民病院，川崎医科大学総合医療センター，倉敷成人病センターの4施設，地域がん診療病院の指定を受けている金田病院，高梁中央病院の2施設，計13施設において2012年から2017年までの6年間に院内がん登録として97,016件の症例の集積が行われました．因みに前回集計を行なった2008年～2011年までの4年間の症例登録数は45,897件でした．

今回，いわゆる五大がん（肺がん，胃がん，大腸がん，肝臓がん，乳がん）と前回集計に加えた，子宮がん，前立腺がん以外に，さらに，食道がん，膵臓がん，悪性リンパ腫を加えた集計を行いましたので，その結果を公開します．

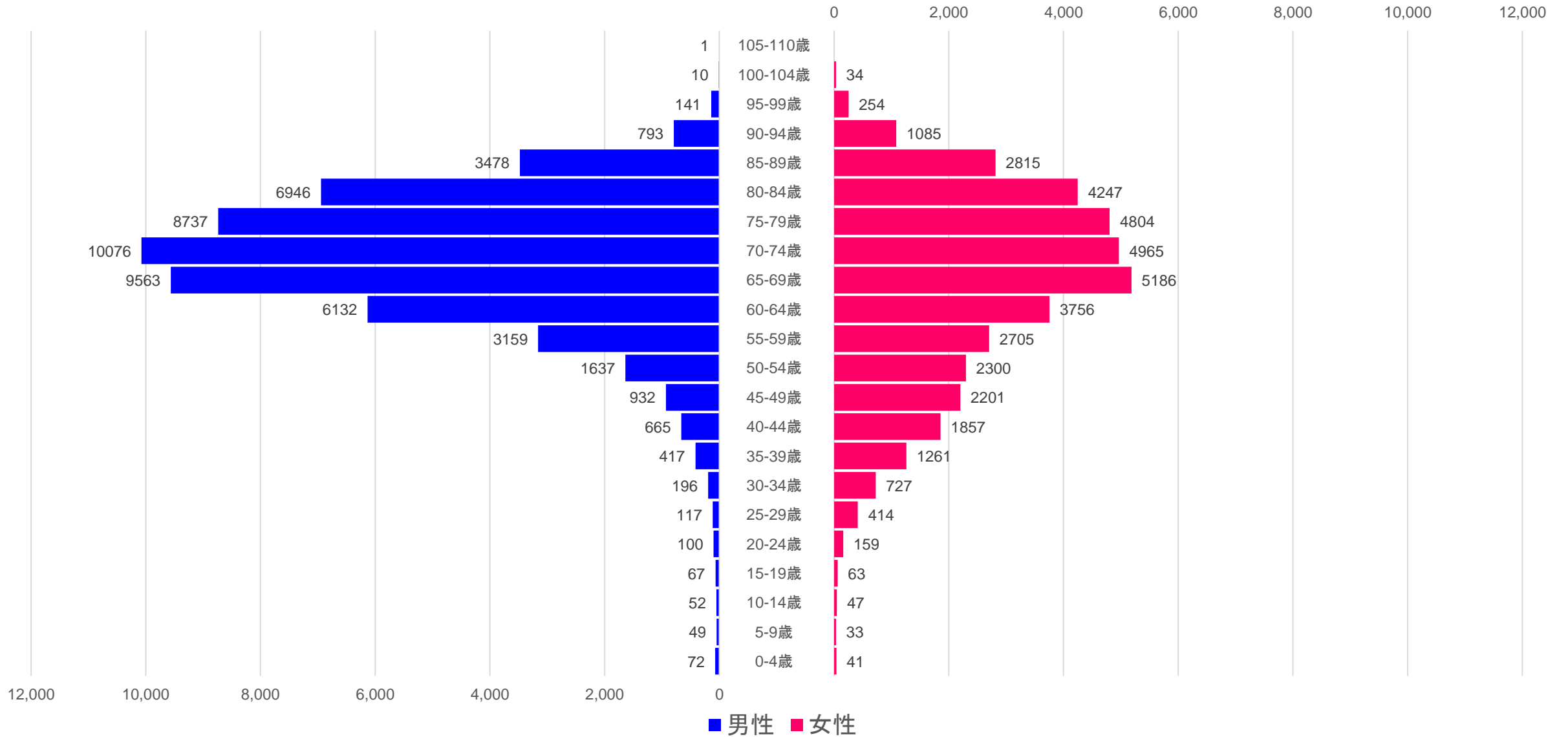
岡山県下のすべてののがん患者さんが登録されているわけではありませんので，以降に示す院内がん登録のデータが岡山県全体の状況を反映しているわけではない点にご留意ください．

院内がん登録の登録件数



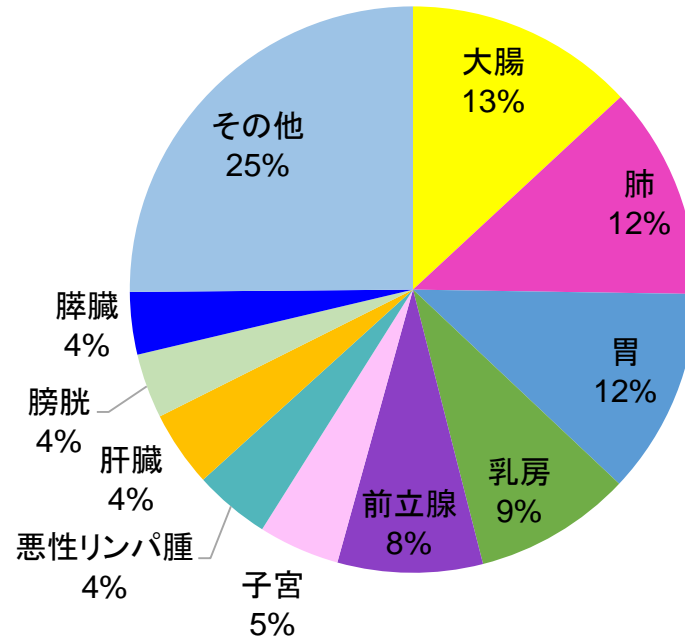
登録症例数は、登録参加施設が増加したこともあって、年々増加していますが、悪性新生物の総数が増加しているのかどうかは、この統計では分かりません。

年齢分布(全悪性新生物)

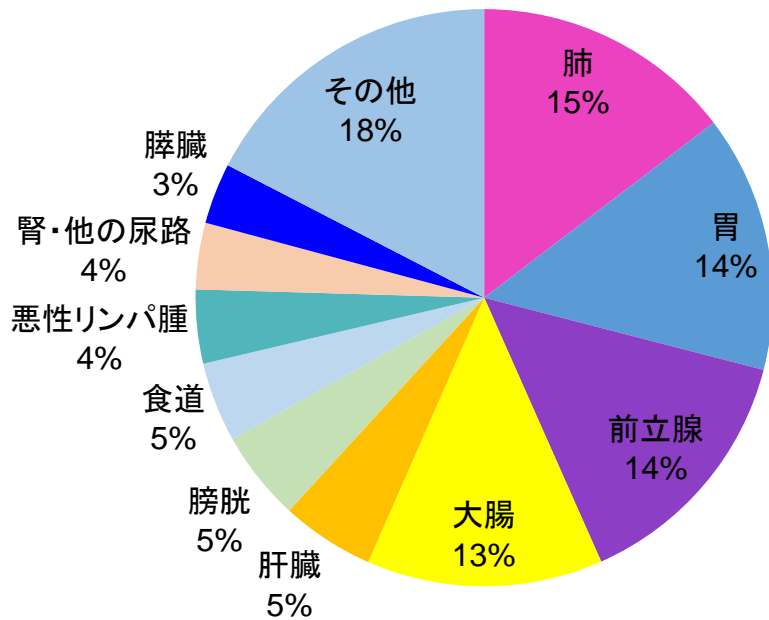


悪性新生物と診断を受けた時点の年齢の分布を男女別に示します

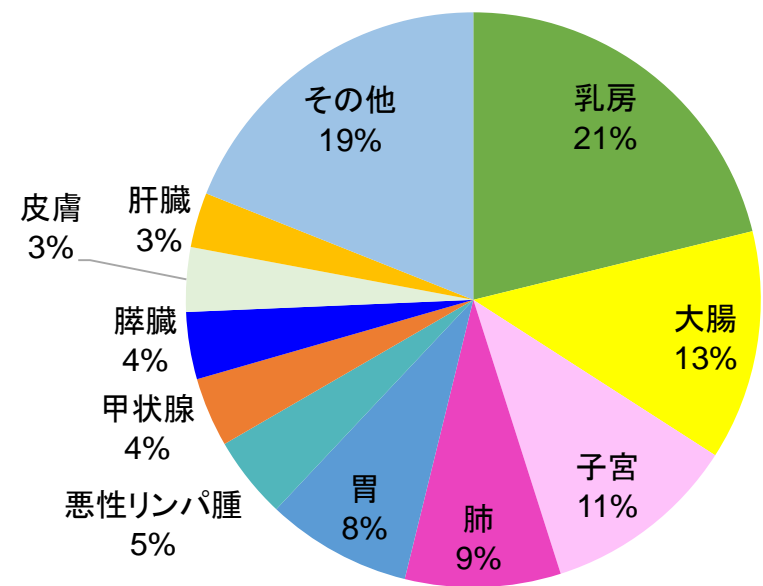
悪性新生物 Top10
全例



悪性新生物 Top10
男性

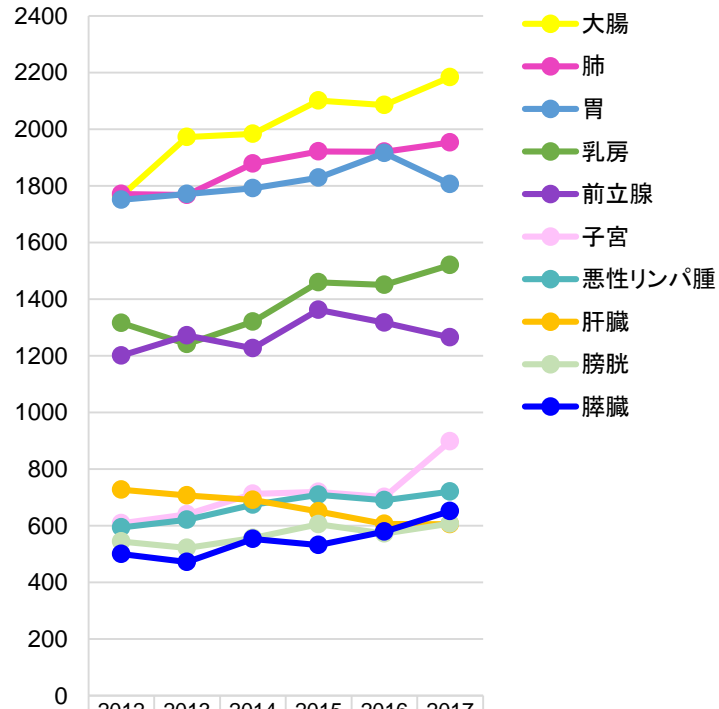


悪性新生物 Top10
女性



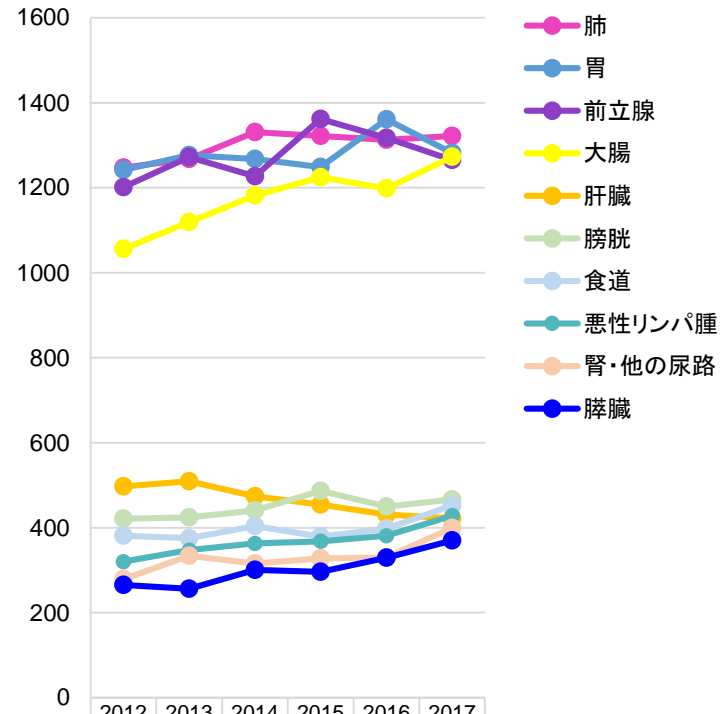
悪性新生物の登録数の上位10臓器を示します

臓器別登録数:総計



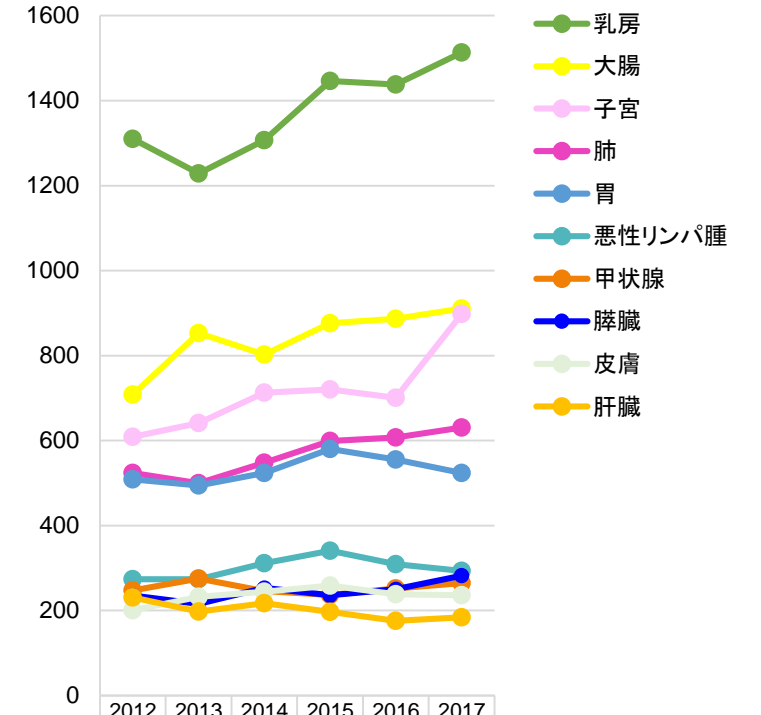
	2012	2013	2014	2015	2016	2017
大腸	1764	1972	1984	2101	2085	2184
肺	1771	1768	1879	1921	1920	1953
胃	1751	1771	1792	1829	1916	1806
乳房	1316	1241	1320	1459	1451	1521
前立腺	1201	1272	1227	1362	1317	1265
子宮	609	641	713	720	701	898
悪性リンパ腫	594	621	674	709	690	721
肝臓	728	707	691	651	607	606
膀胱	545	522	557	606	573	608
膵臓	500	472	554	532	579	652

臓器別登録数:男性



	2012	2013	2014	2015	2016	2017
肺	1247	1268	1331	1322	1313	1322
胃	1242	1277	1268	1249	1361	1282
前立腺	1201	1272	1227	1362	1317	1265
大腸	1056	1119	1182	1225	1198	1273
肝臓	497	509	474	454	431	422
膀胱	421	424	441	487	450	466
食道	381	375	404	379	398	452
悪性リンパ腫	320	347	363	368	381	428
腎・他の尿路	279	334	316	328	330	399
膵臓	265	256	301	296	329	370

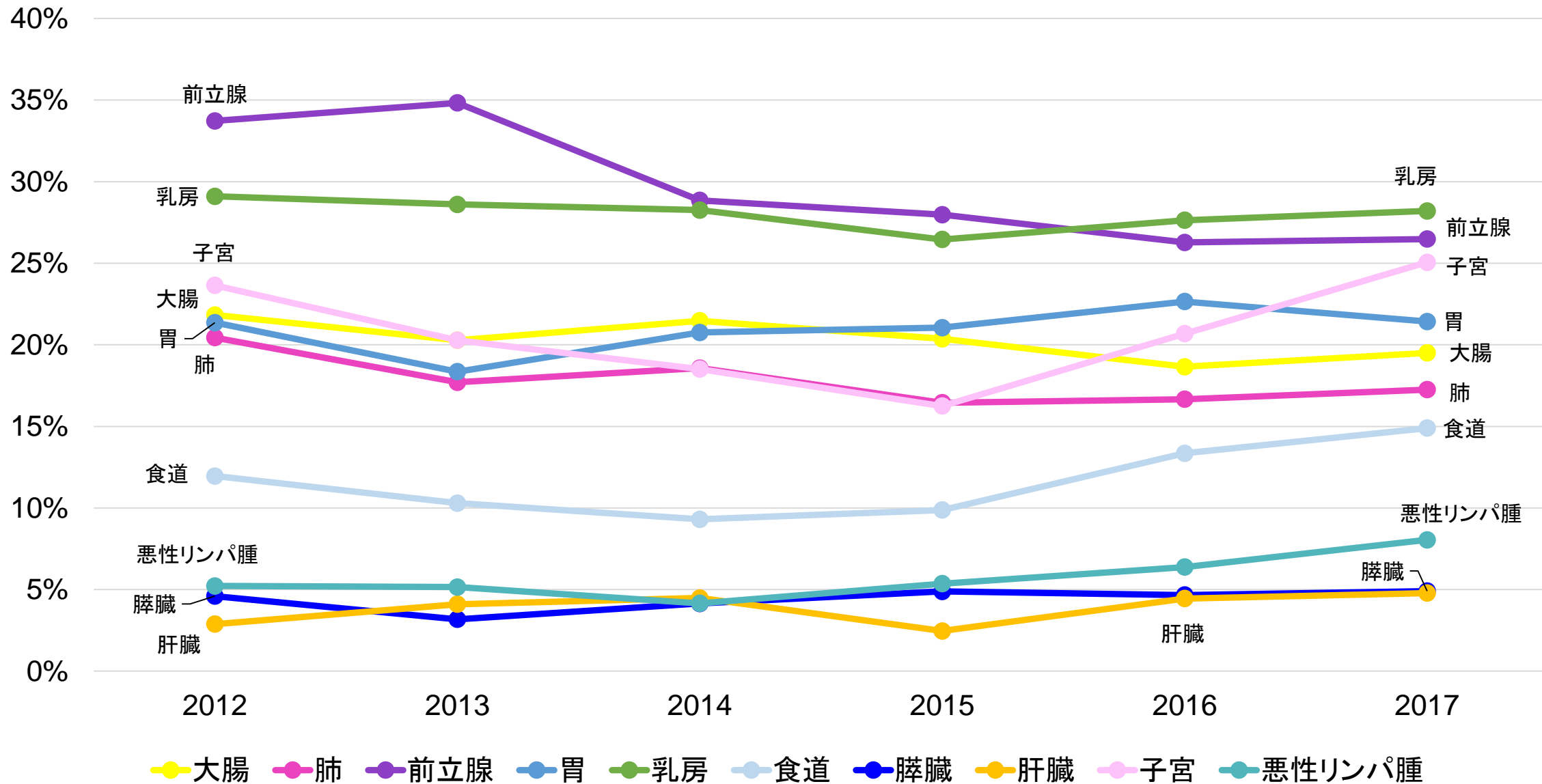
臓器別登録数:女性



	2012	2013	2014	2015	2016	2017
乳房	1310	1229	1307	1446	1438	1513
大腸	708	853	802	876	887	911
子宮	609	641	713	720	701	898
肺	524	500	548	599	607	631
胃	509	494	524	580	555	524
悪性リンパ腫	274	274	311	341	309	293
甲状腺	247	275	246	237	252	265
膵臓	235	216	253	236	250	282
皮膚	201	232	244	259	238	236
肝臓	231	198	217	197	176	184

臓器別の登録数で見ると、大腸、肺、乳房、子宮、膵臓が増加傾向です。

がん検診・健康診断・人間ドックにより発見された症例の割合



病期分類(ステージ分類)

1. UICC(国際対がん連合)のTNM分類による病期分類(ステージ分類)

腫瘍の大きさ(T), リンパ節転移の拡がり(N), 遠隔転移の有無(M)の3者の組み合わせによりがんの進行度を決定します。0期～Ⅳ期に分類され, 数字が大きいほどがんが進行していることを示します。UICCによる病期分類には, 治療開始前の診断時にがんの進行具合を分類する臨床病期と, 手術でがんがどこまで進んでいたかを摘出臓器やリンパ節転移の拡がりを確認して分類する病期分類があります。病理病期は手術で摘出した臓器やリンパ節転移を調べて決定するので, 病期の進行具合がよりの確に把握できます。2017年まではUICCのTNM分類第7版を用いて登録しています。

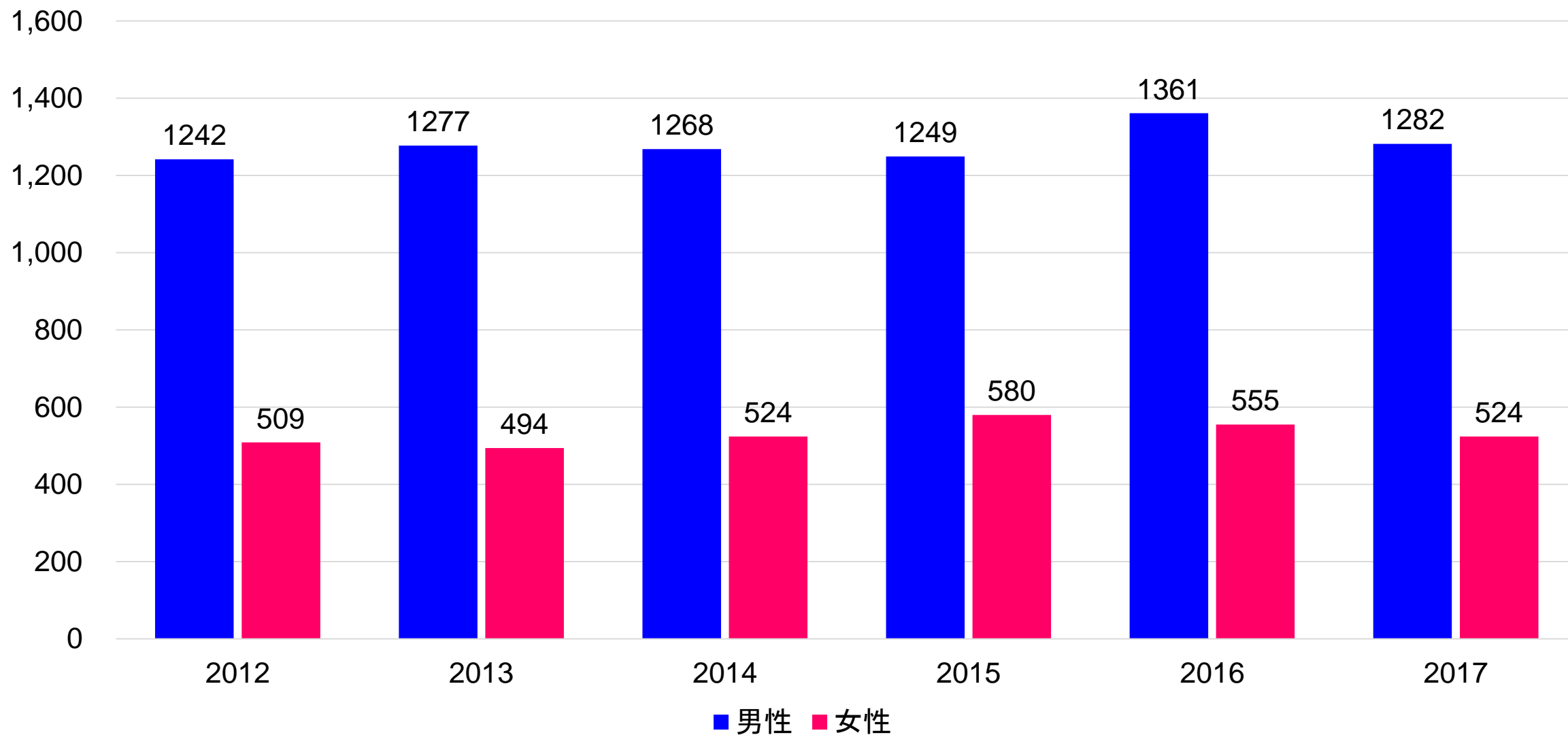
2. 各種「がん取扱い規約」による病期分類(ステージ分類)

各学会は「がん取扱い規約」によりがんの進行度を定めています。日本独自のものであり, 多くの臨床医はこちらを用いています。肝臓がんに関してはUICCのTNM分類とともにこのがん取扱い規約による病期分類も用いています。

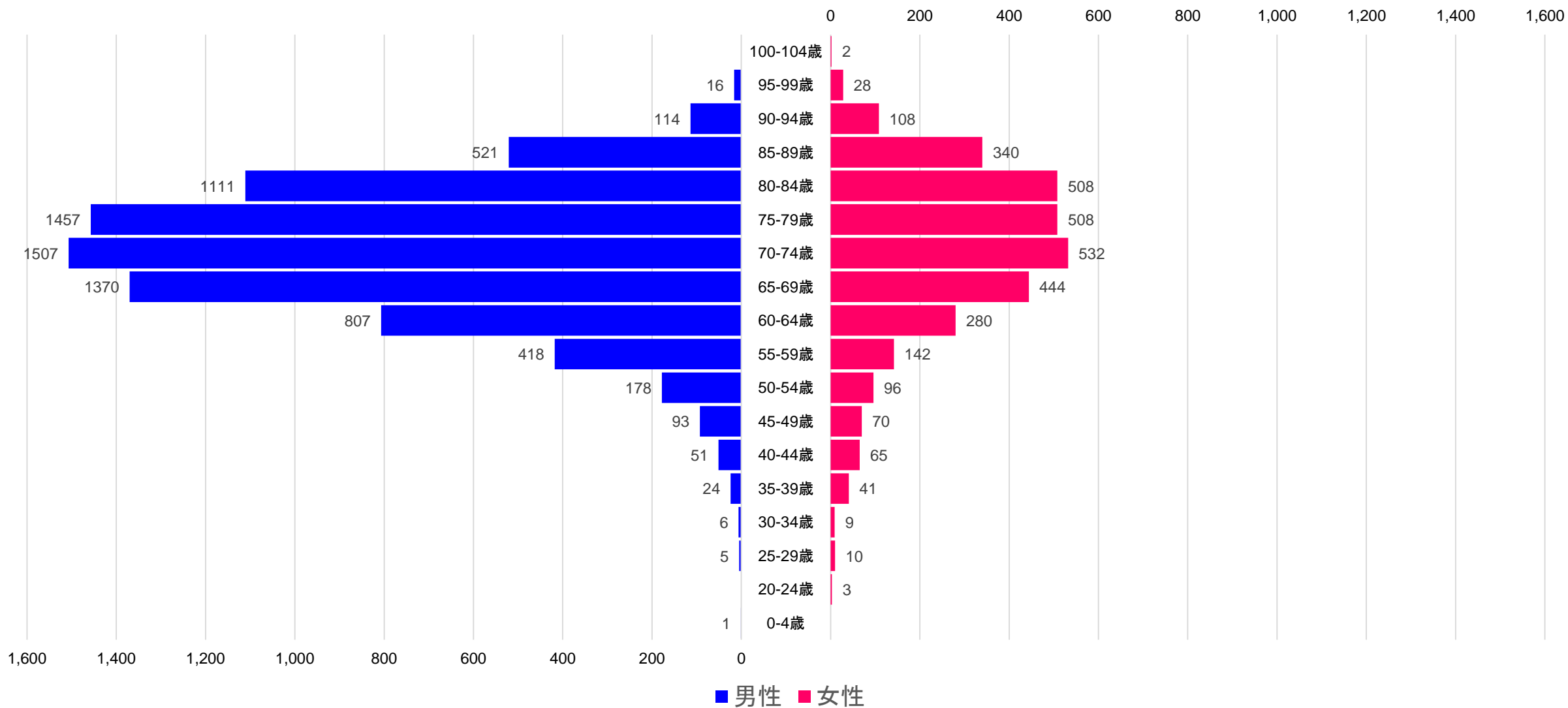
以下の各がんの項で示す臨床病期は, 明示していないものはすべてUICCのTNM分類第7版によるものです。

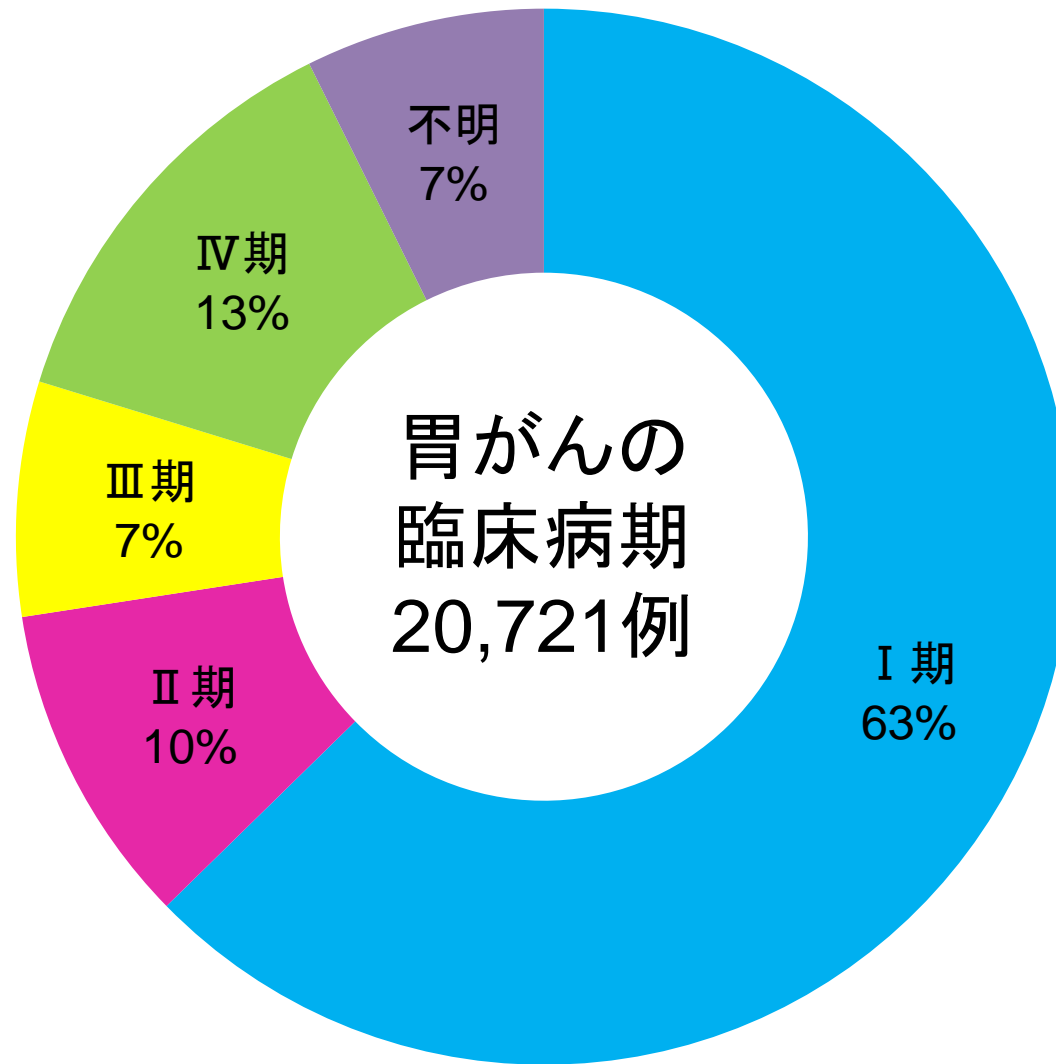
胃の悪性新生物

胃の悪性新生物 2012-2017



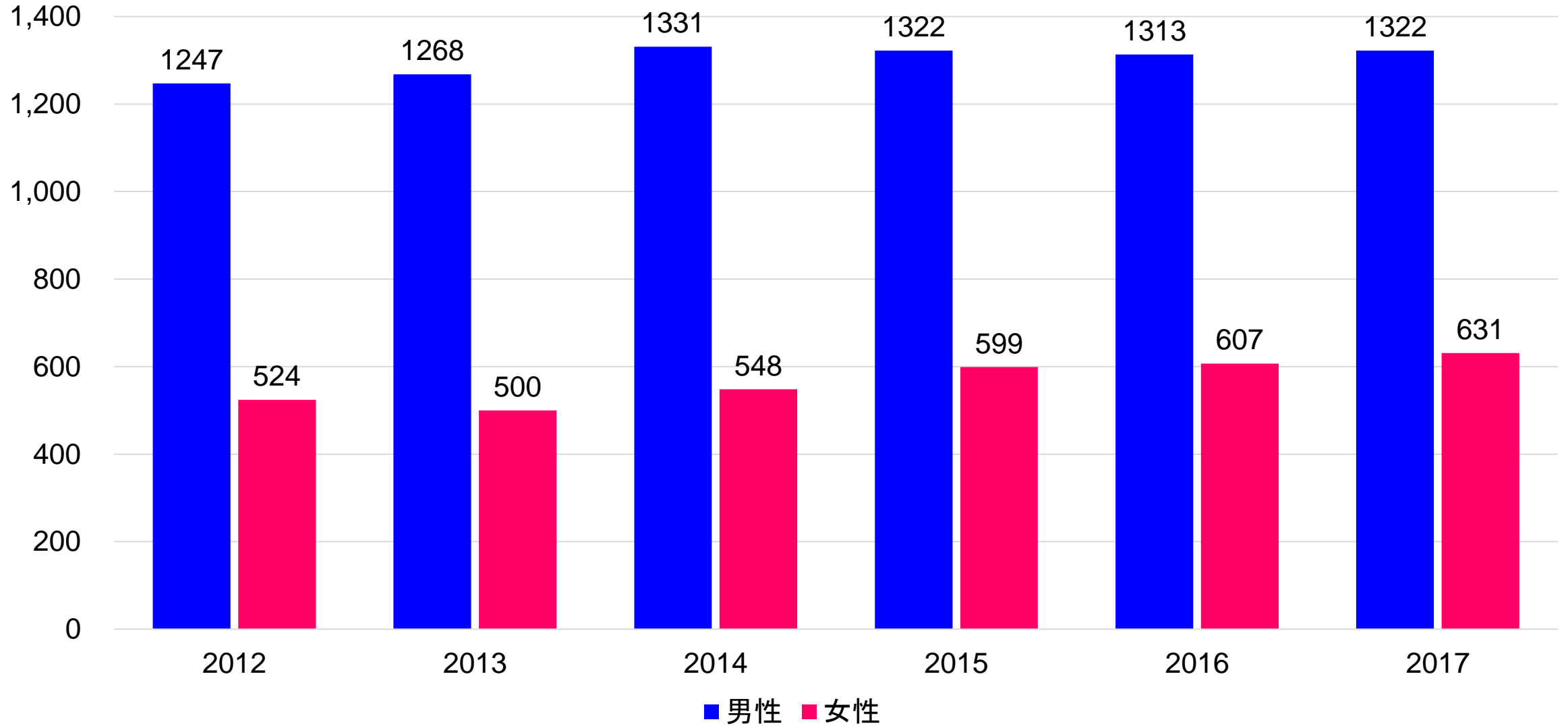
胃の悪性新生物一年齢分布 2012-2017



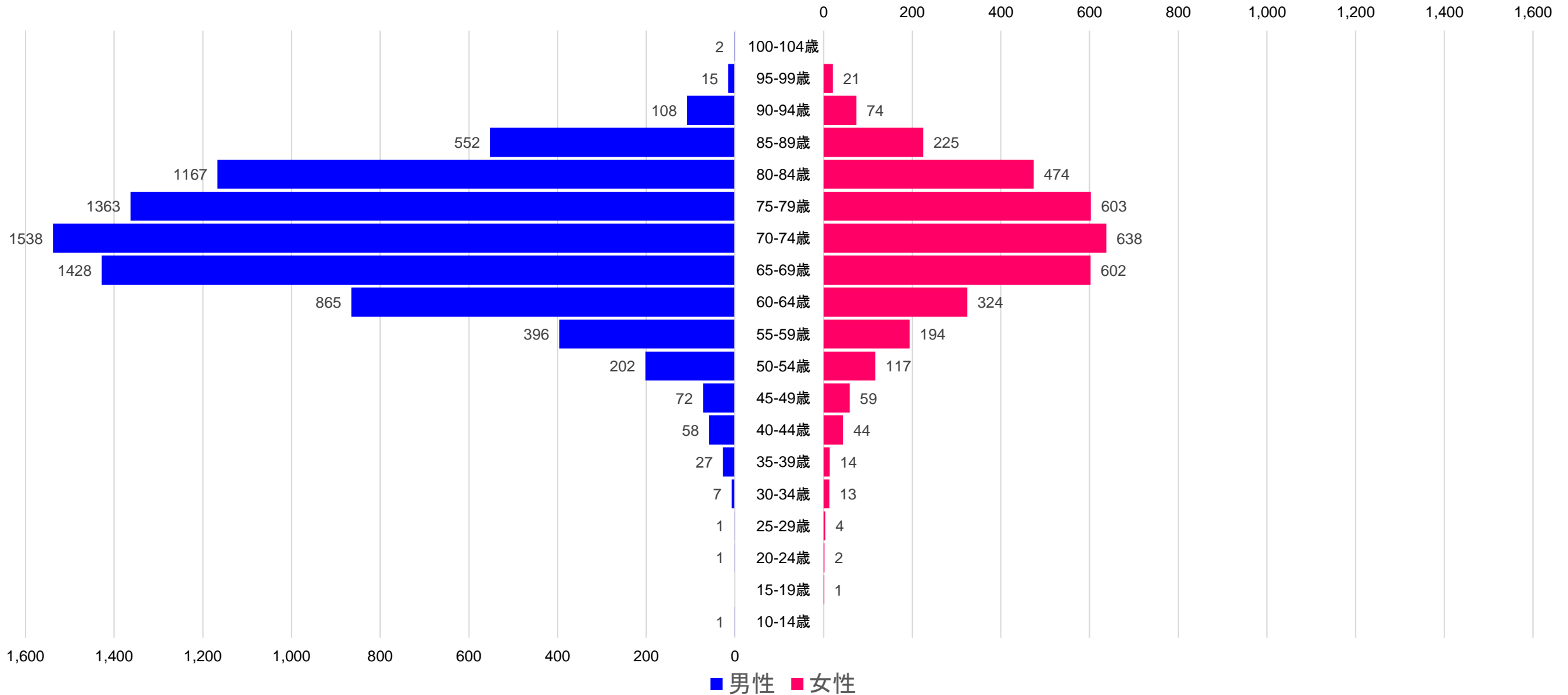


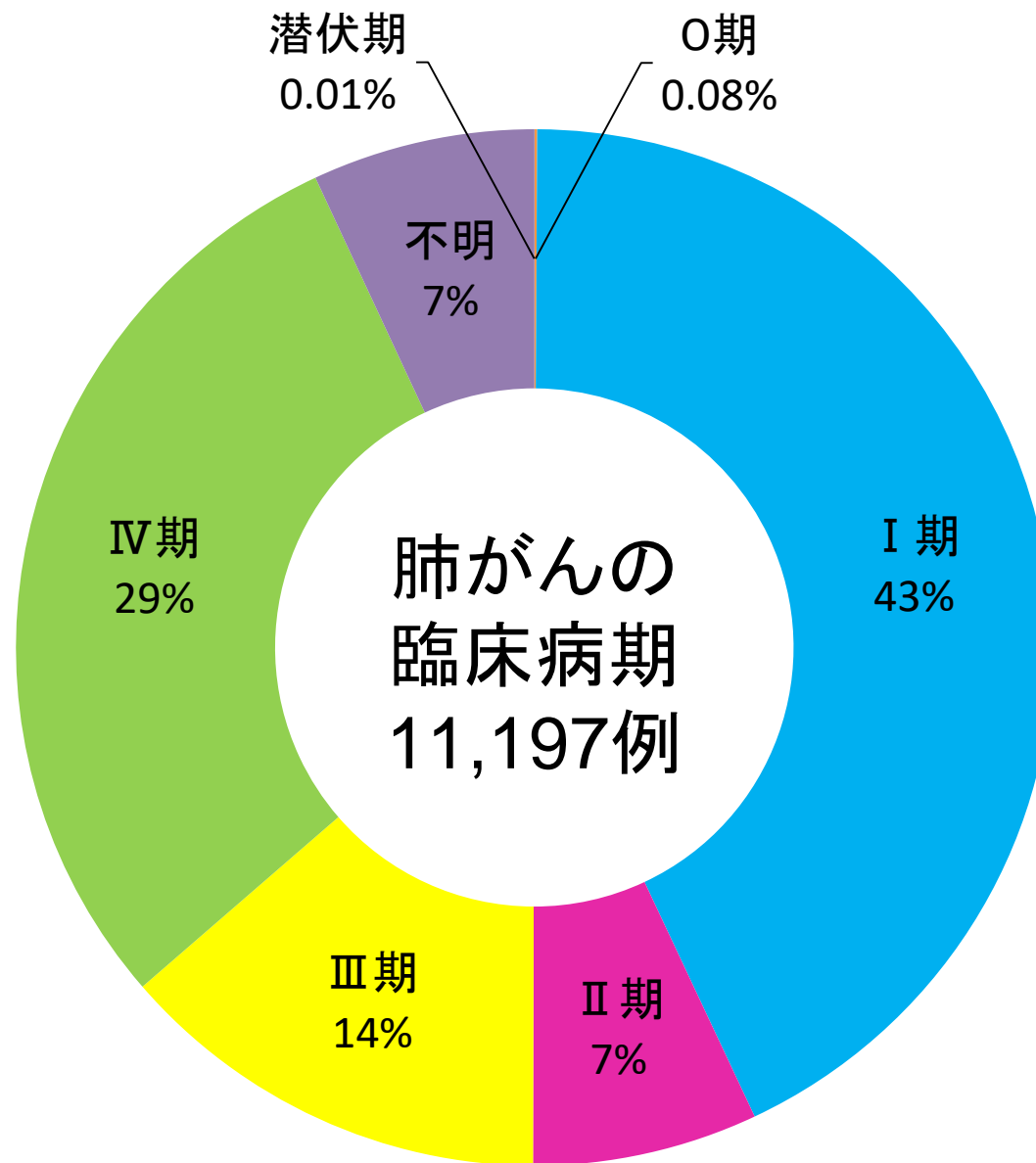
肺の悪性新生物

肺の悪性新生物 2012-2017



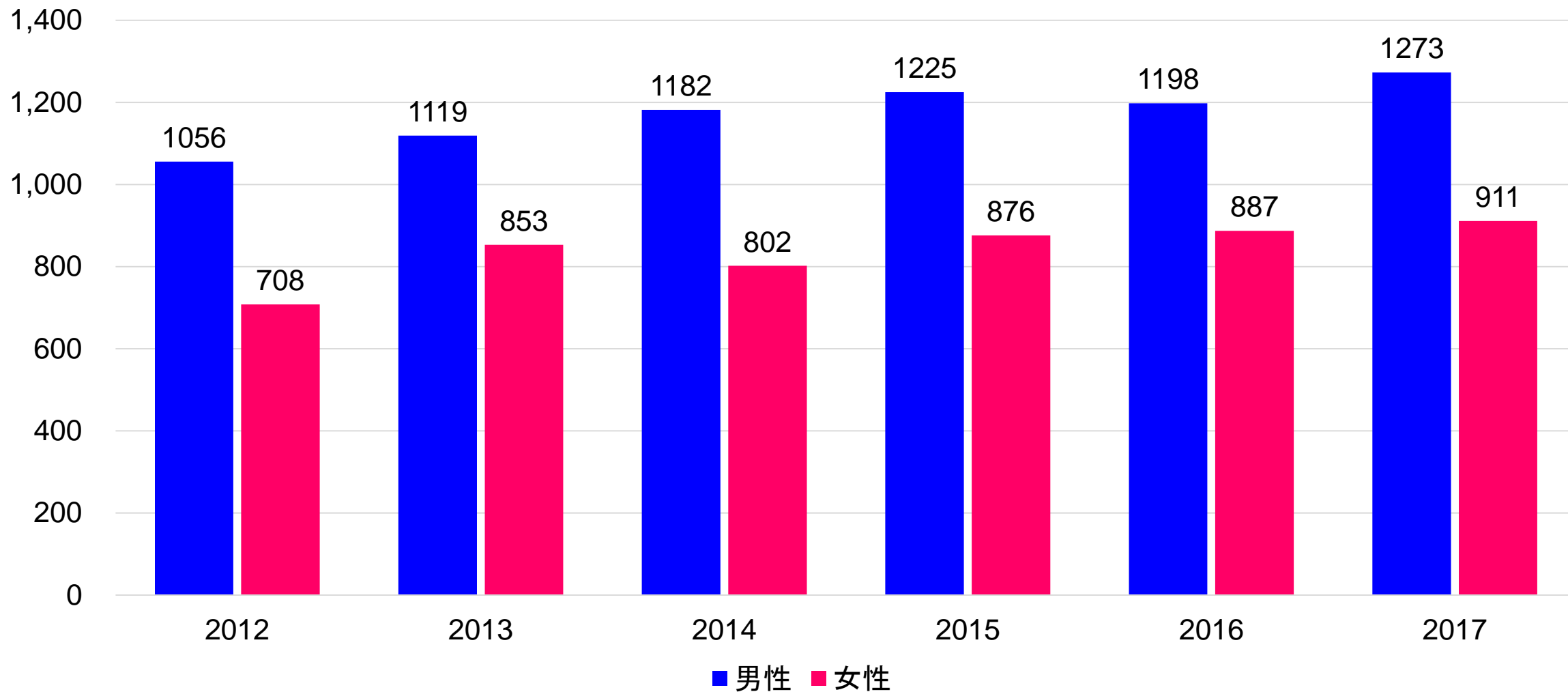
肺の悪性新生物一年齢分布 2012-2017





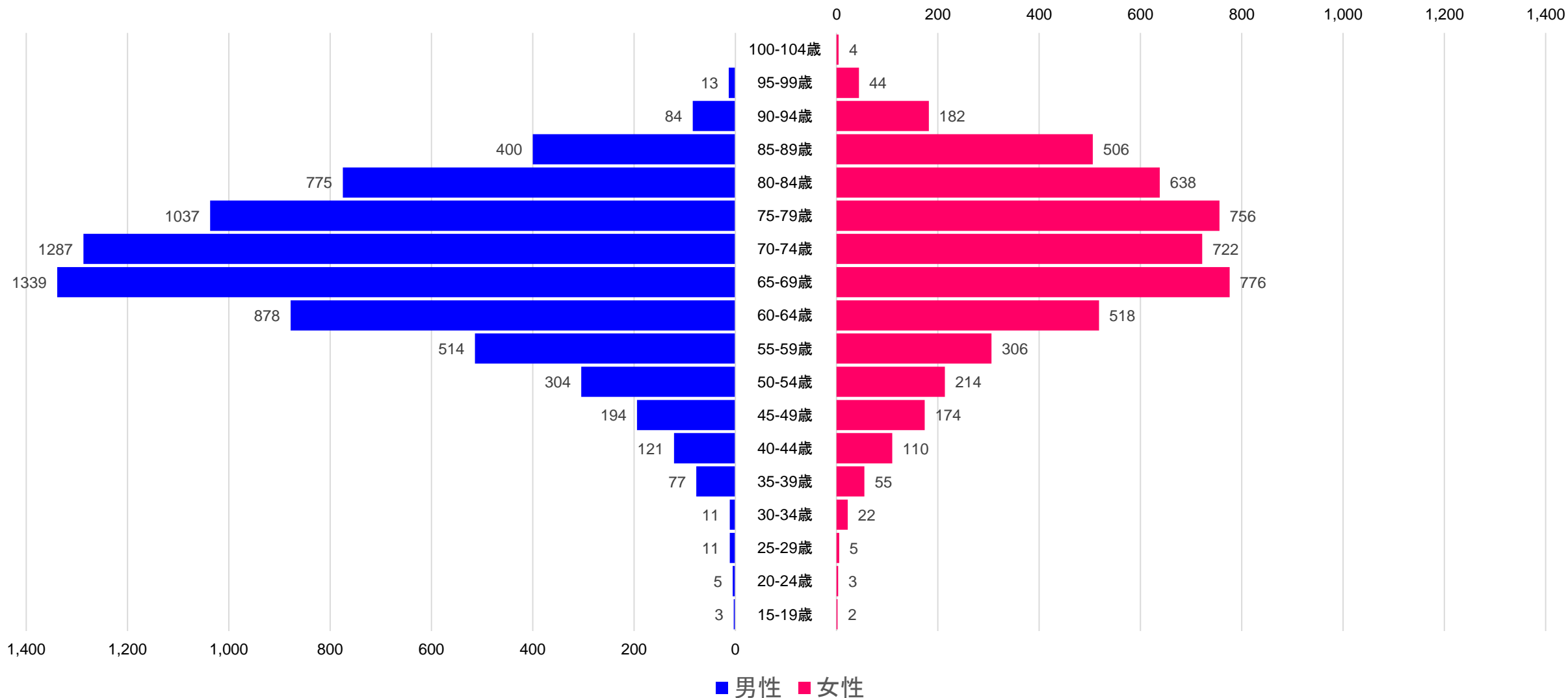
大腸の悪性新生物

大腸の悪性新生物 2012-2017

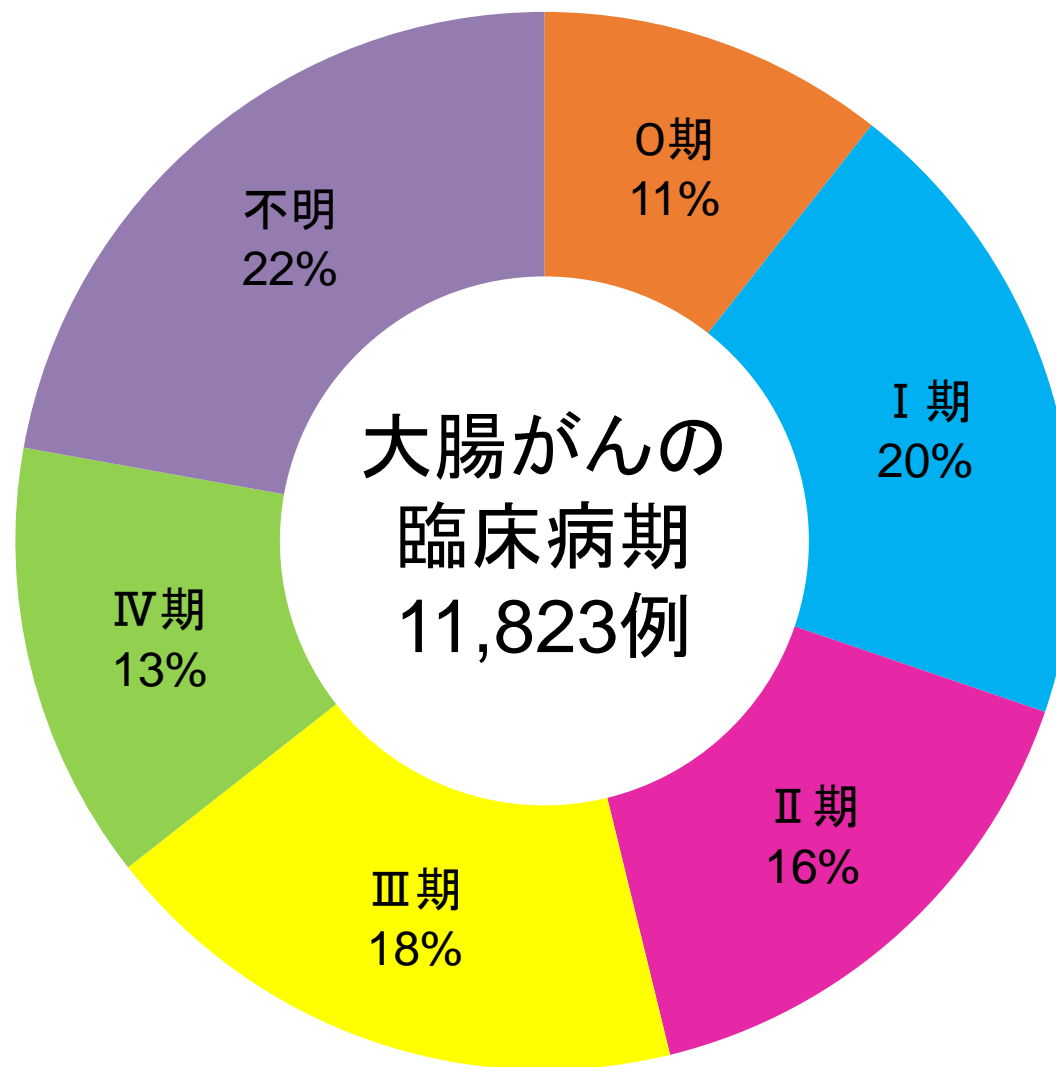


大腸の悪性新生物の統計では結腸と直腸の両者を含めています

大腸の悪性新生物一年齢分布 2012-2017



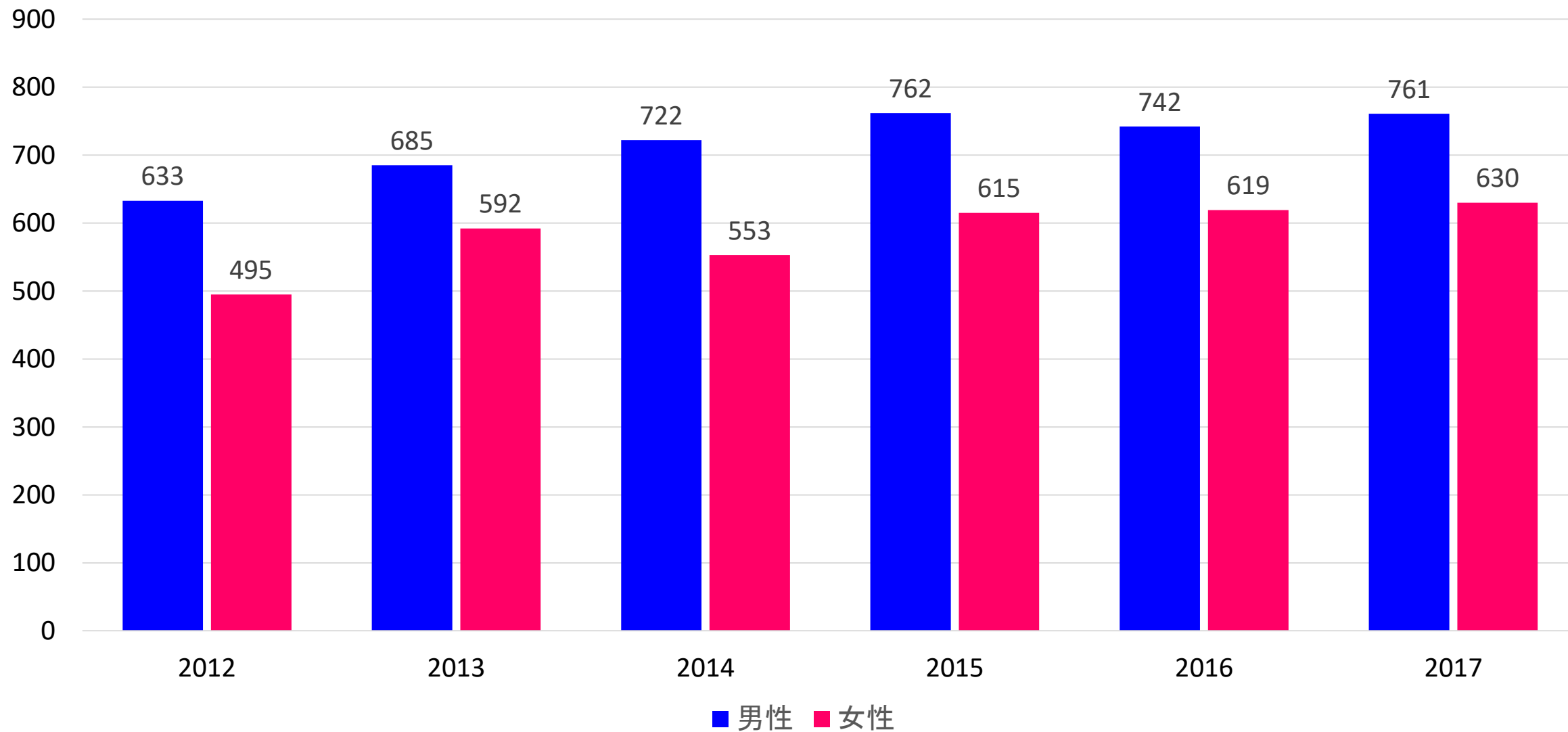
大腸の悪性新生物の統計では結腸と直腸の両者を含めています



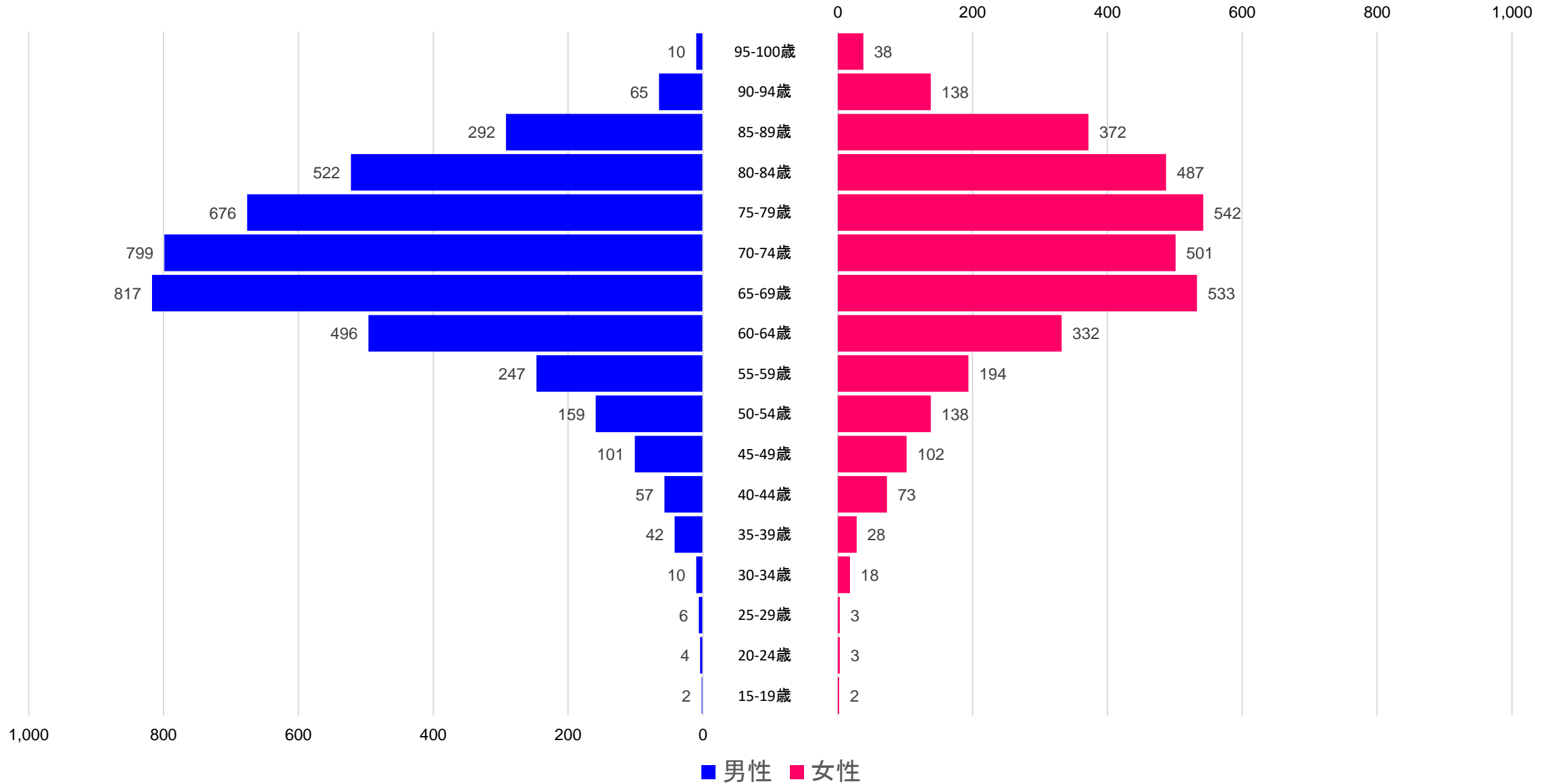
大腸の悪性新生物の統計では結腸と直腸の両者を含めています

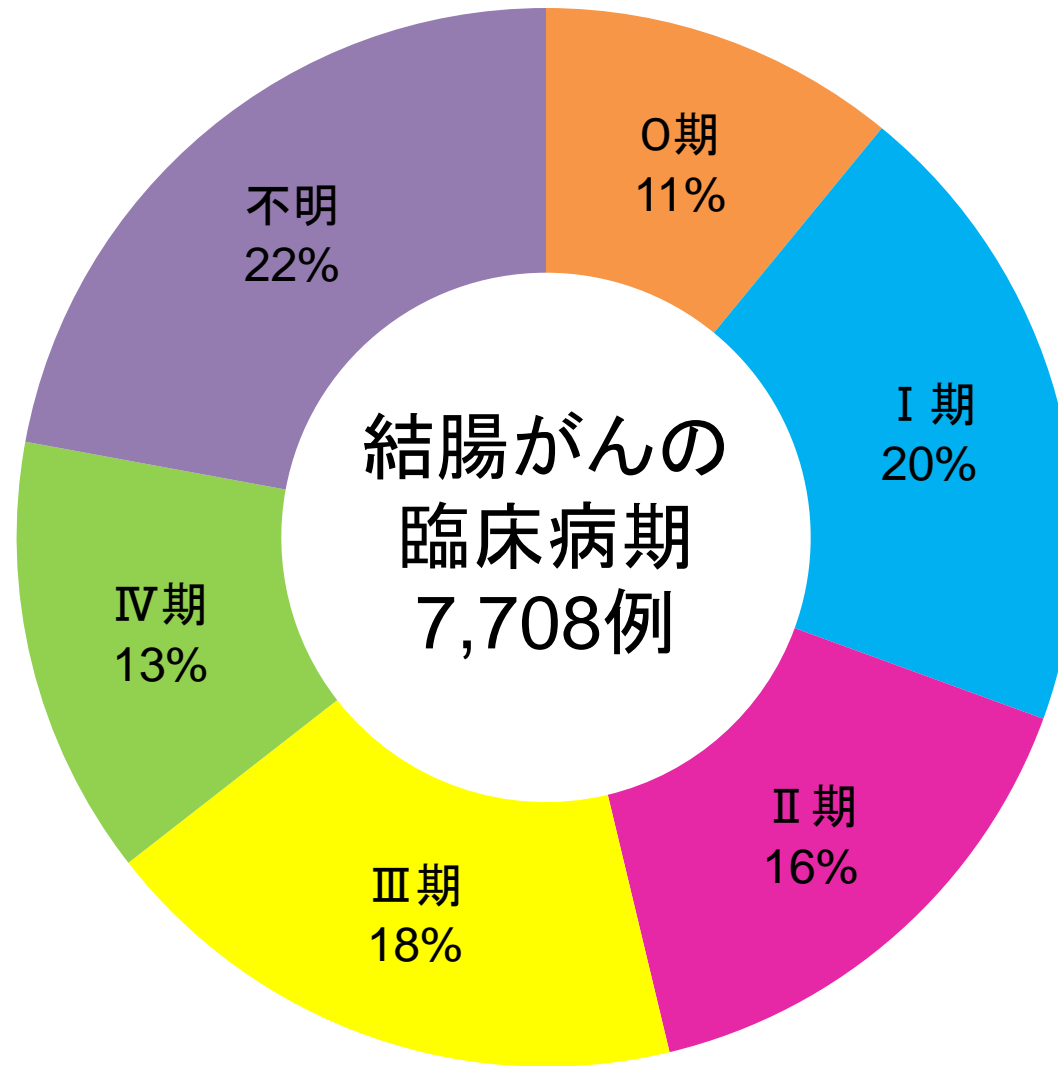
結腸の悪性新生物

結腸の悪性新生物 2012-2017



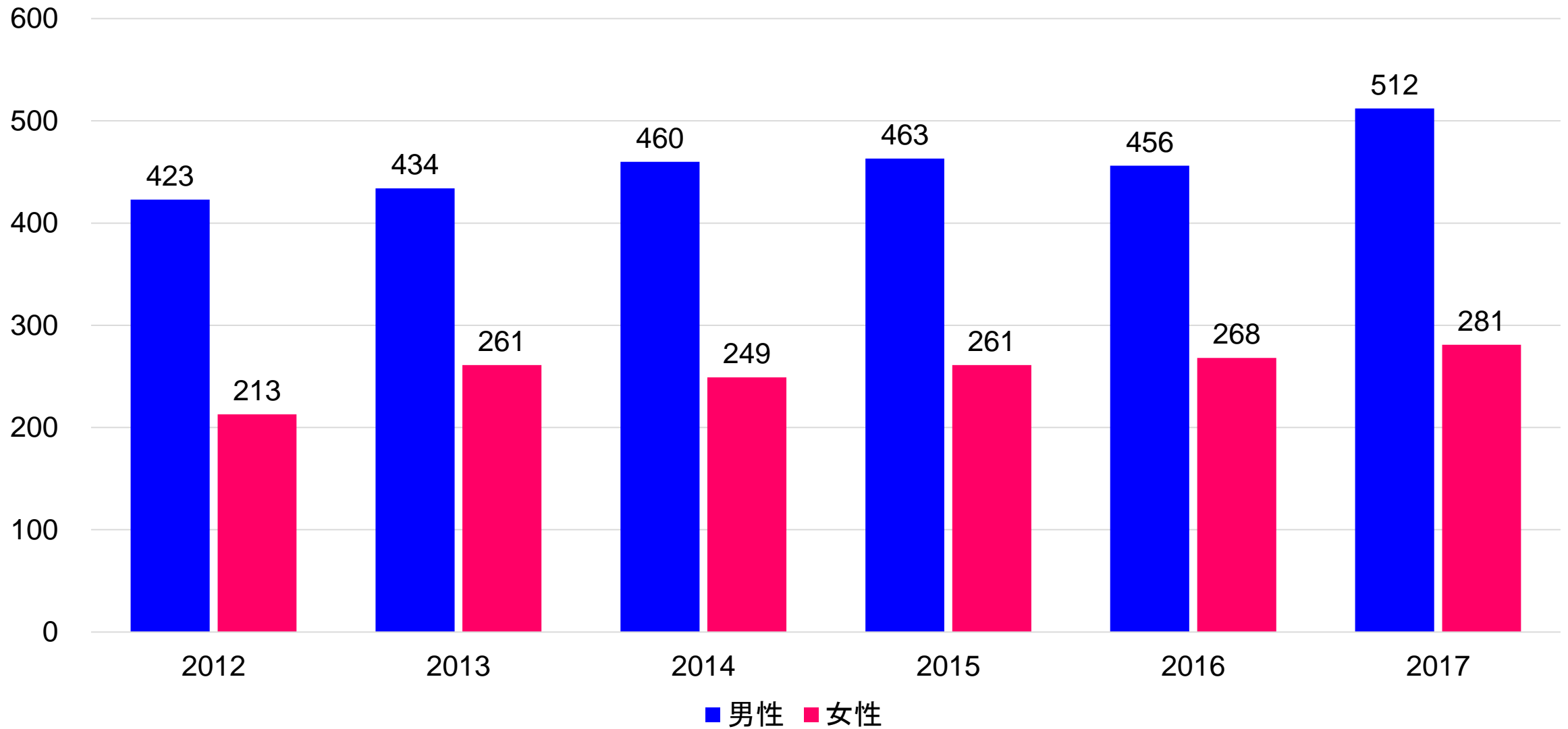
結腸の悪性新生物一年齢分布 2012-2017



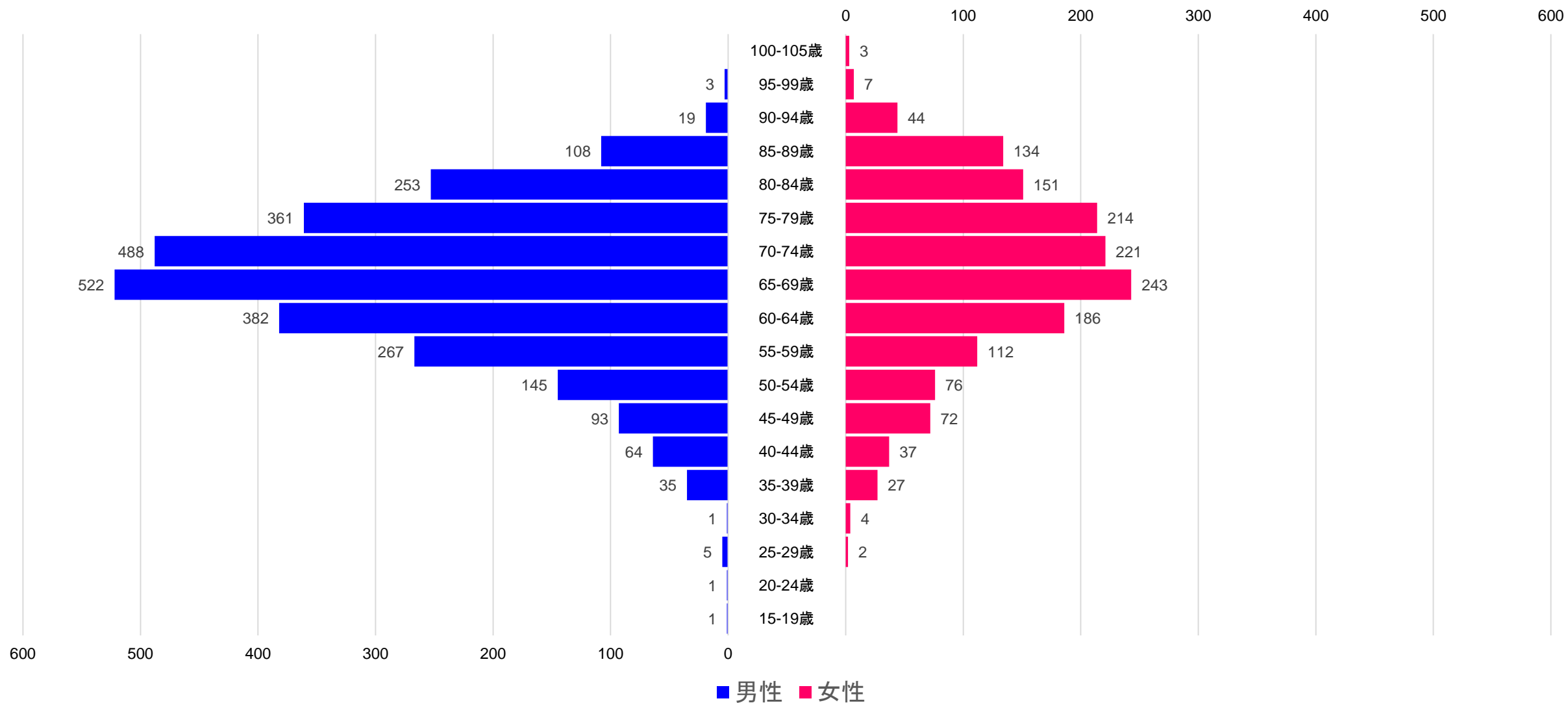


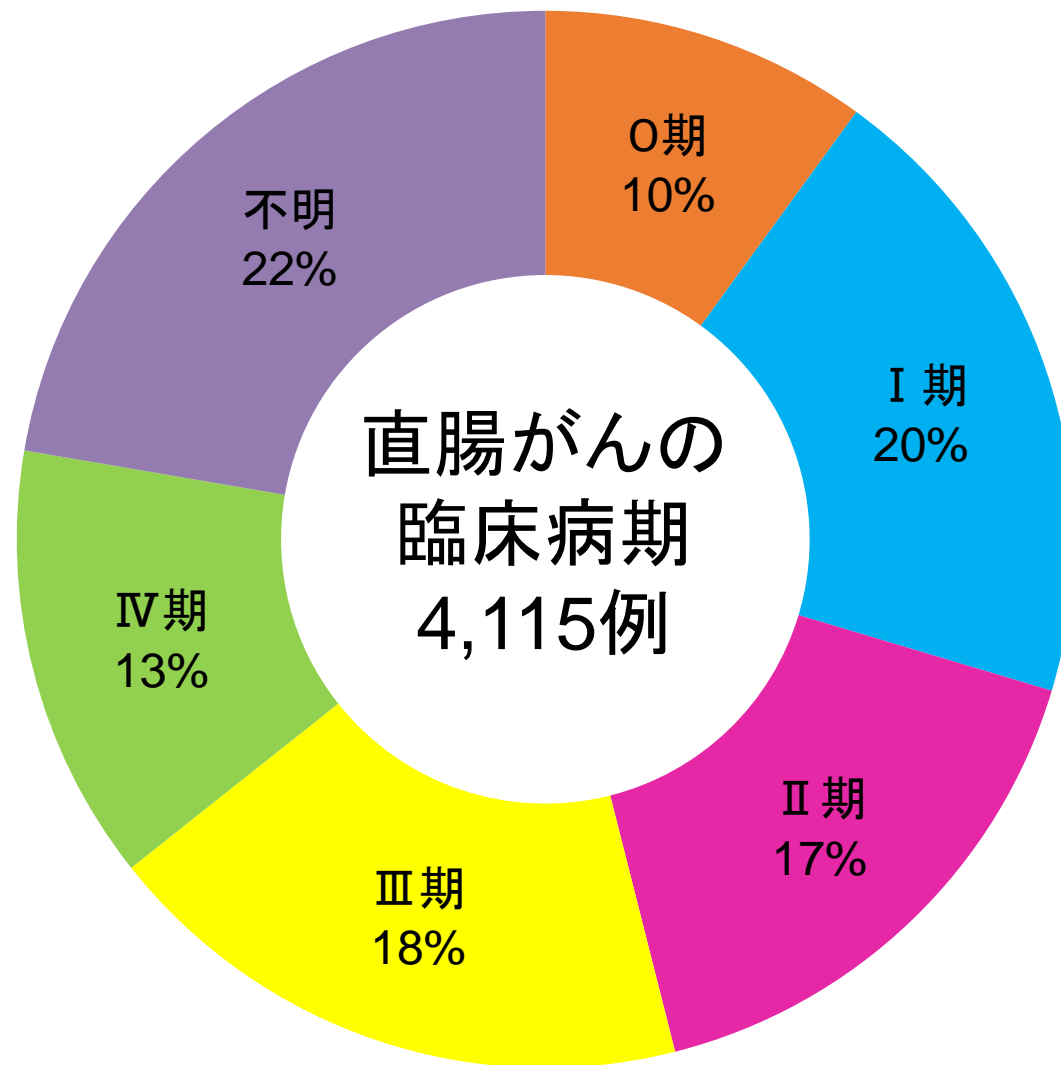
直腸の悪性新生物

直腸の悪性新生物 2012-2017



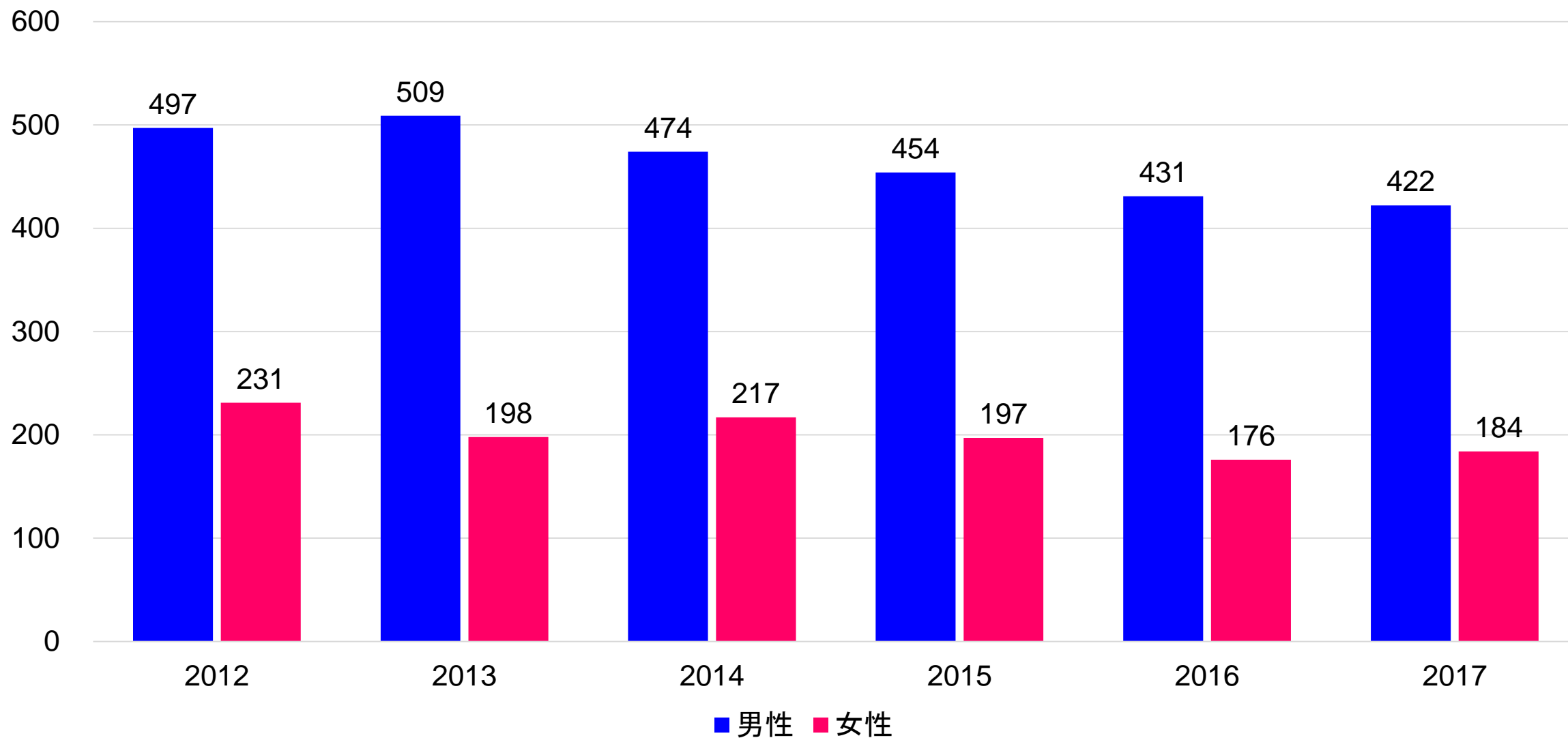
直腸の悪性新生物一年齢分布 2012-2017



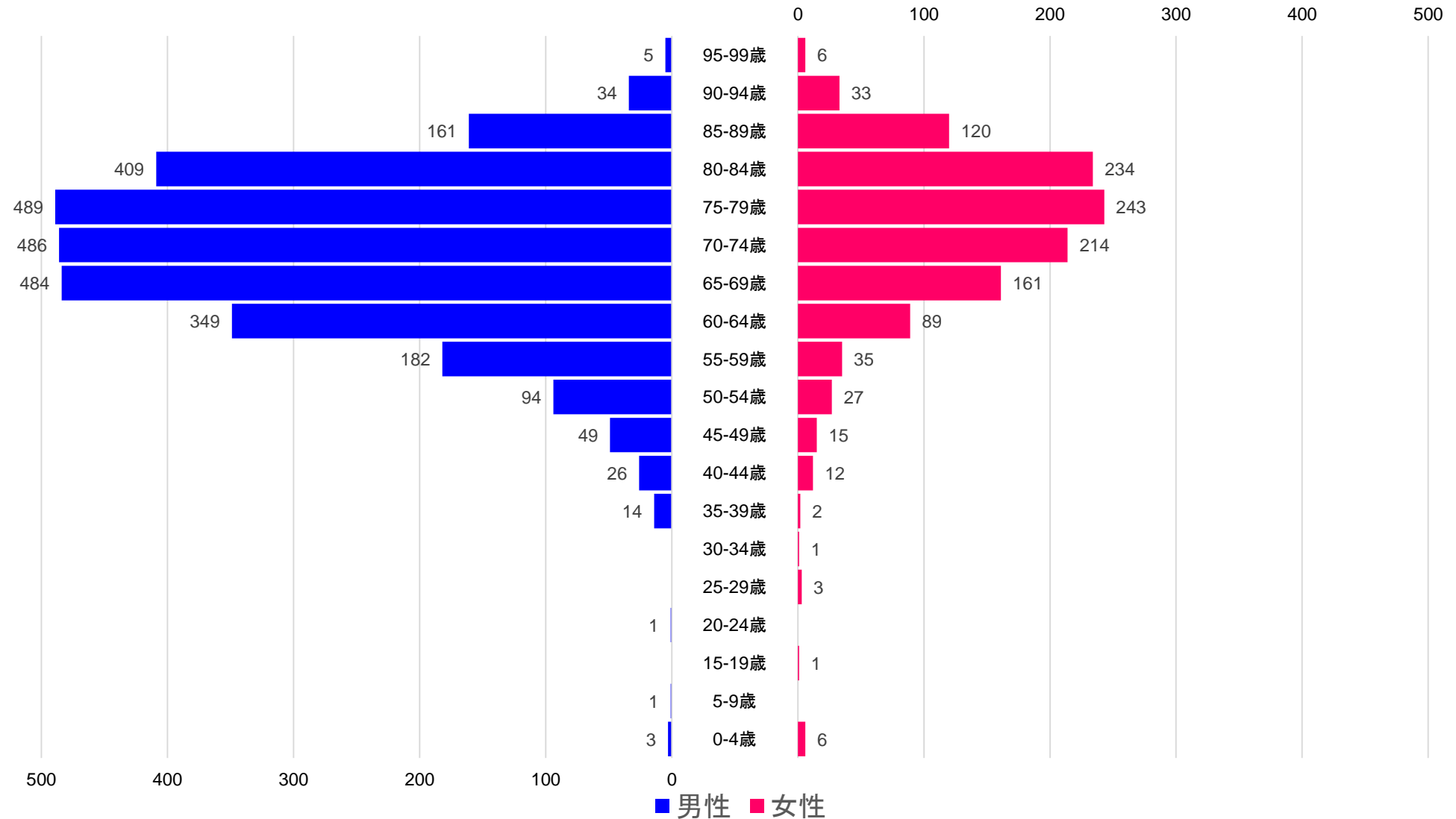


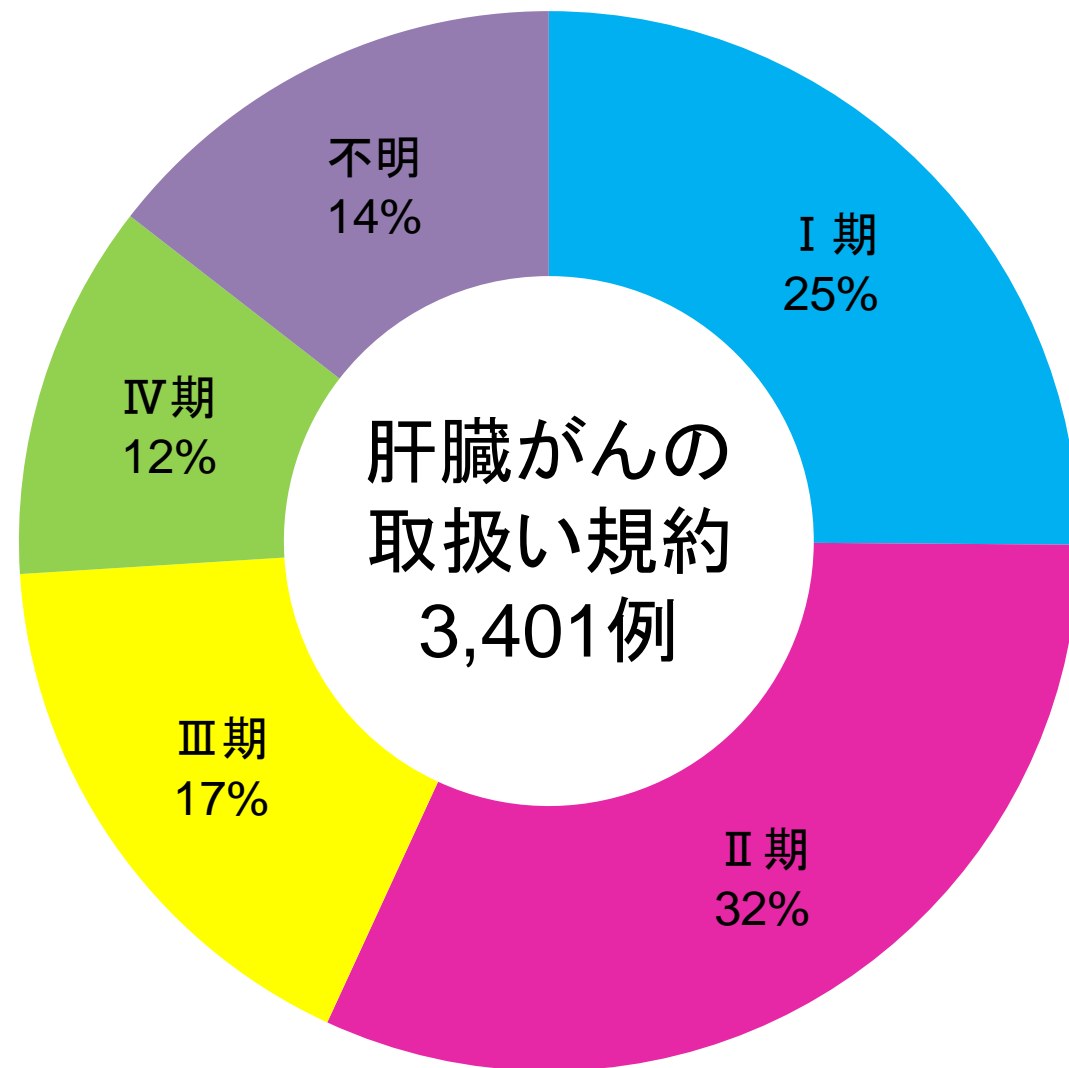
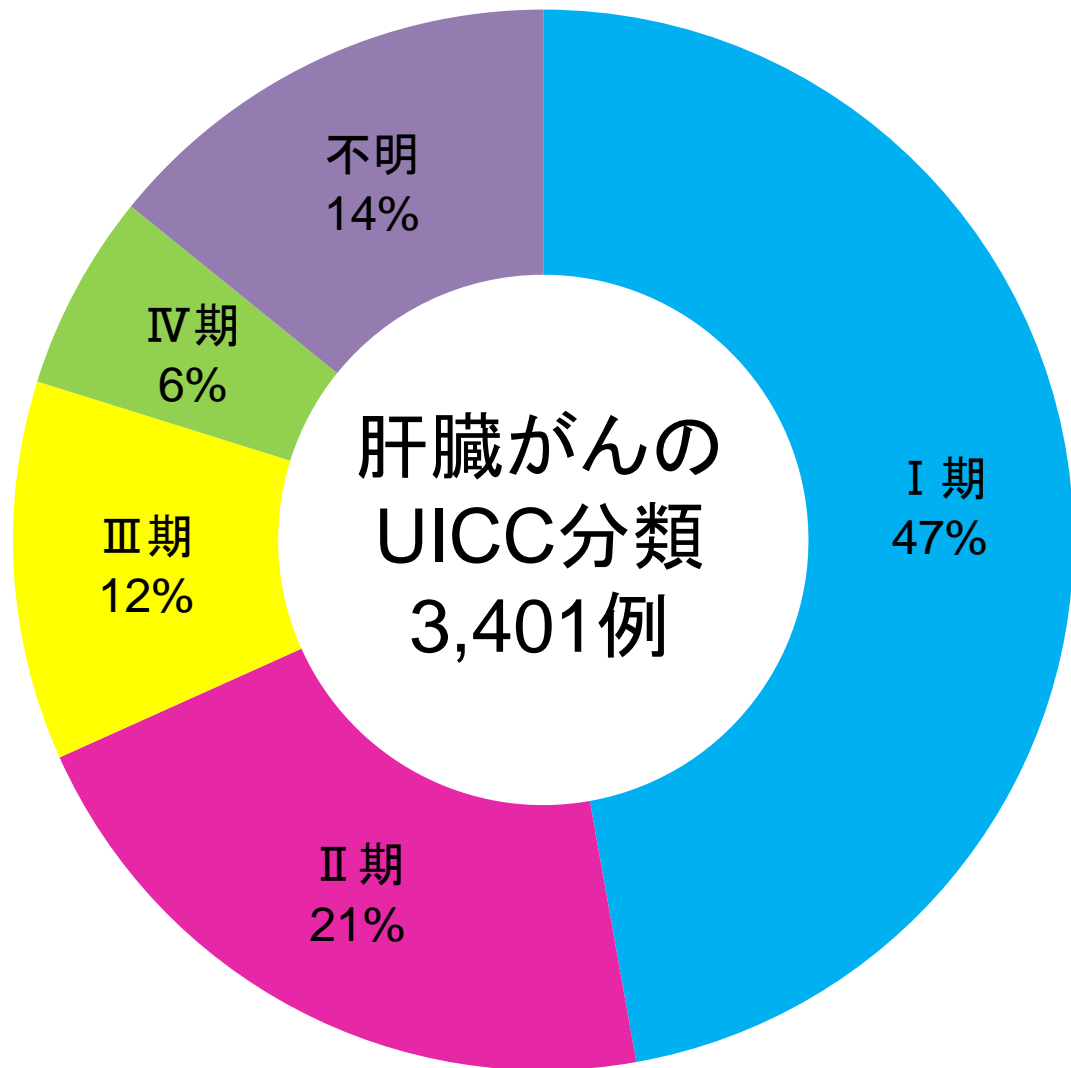
肝臓の悪性新生物

肝臓の悪性新生物 2012-2017



肝臓の悪性新生物一年齢分布 2012-2017

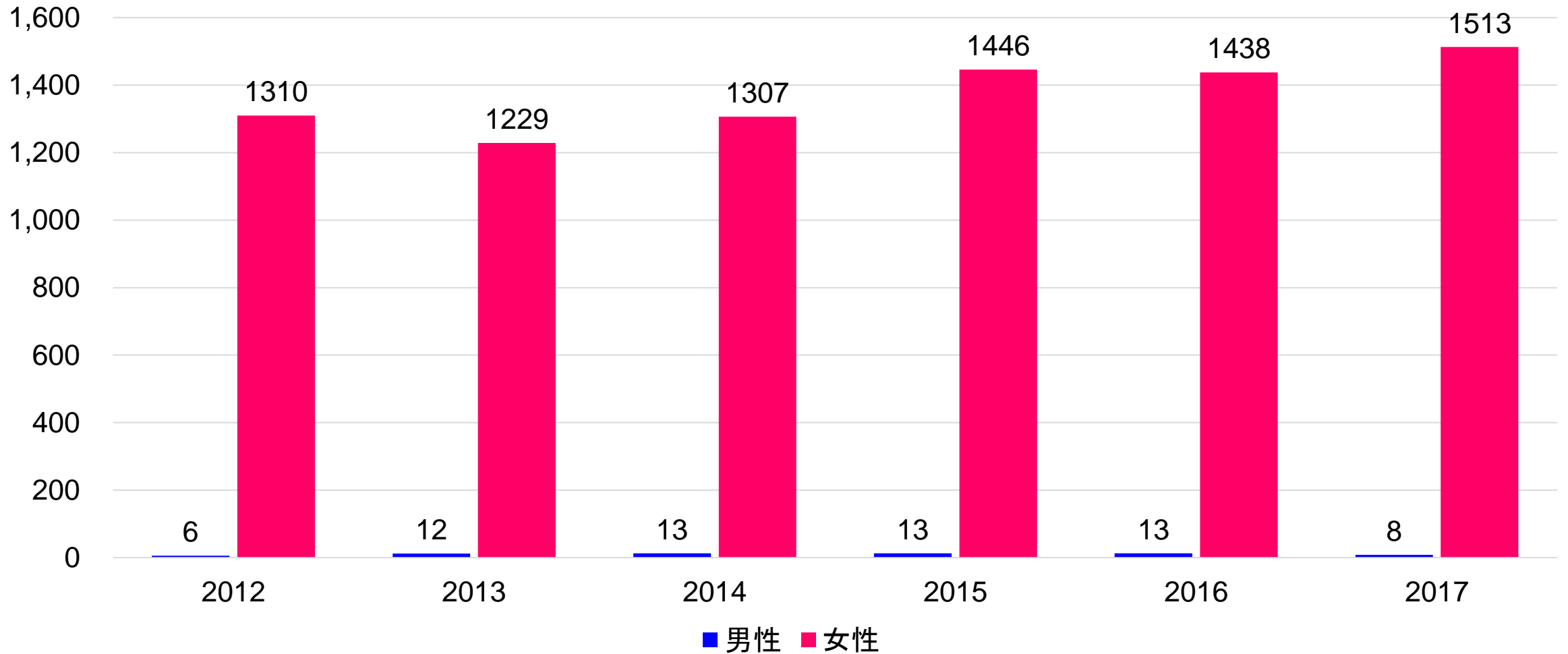




肝臓がんではUICC(国際対がん連合)とがん取扱い規約による病期分類の両者を示します

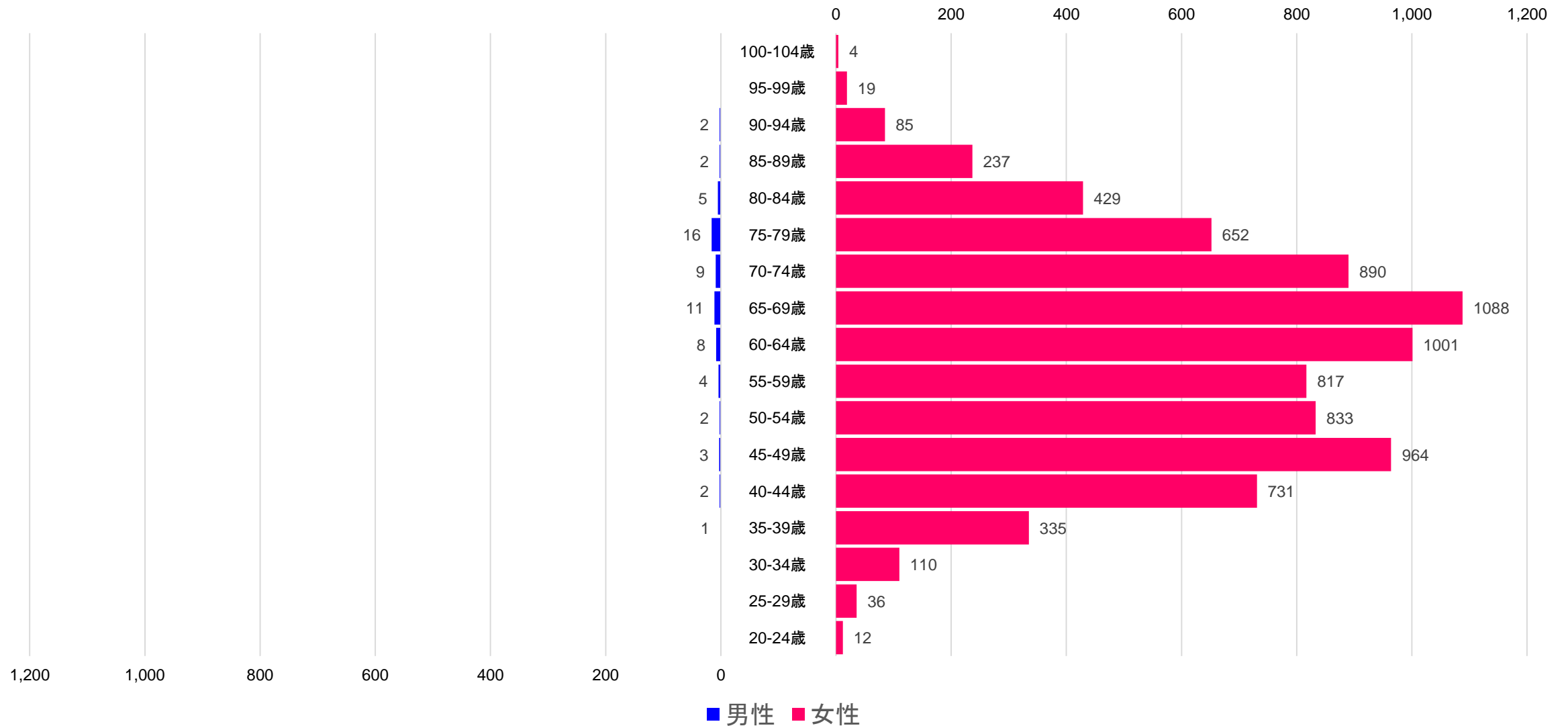
乳房の悪性新生物

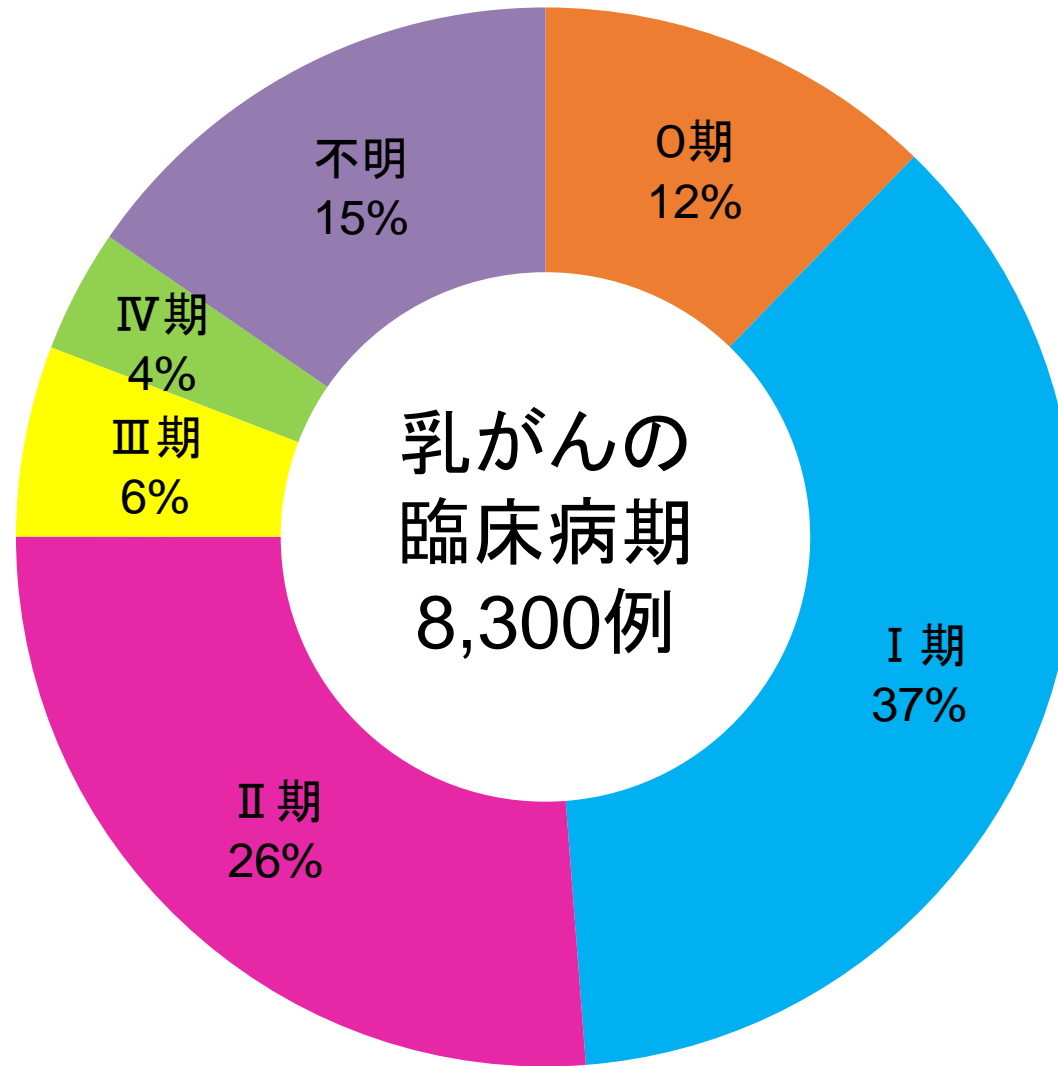
乳房の悪性新生物 2012-2017



少数ではありますが男性にも乳房の悪性新生物があります

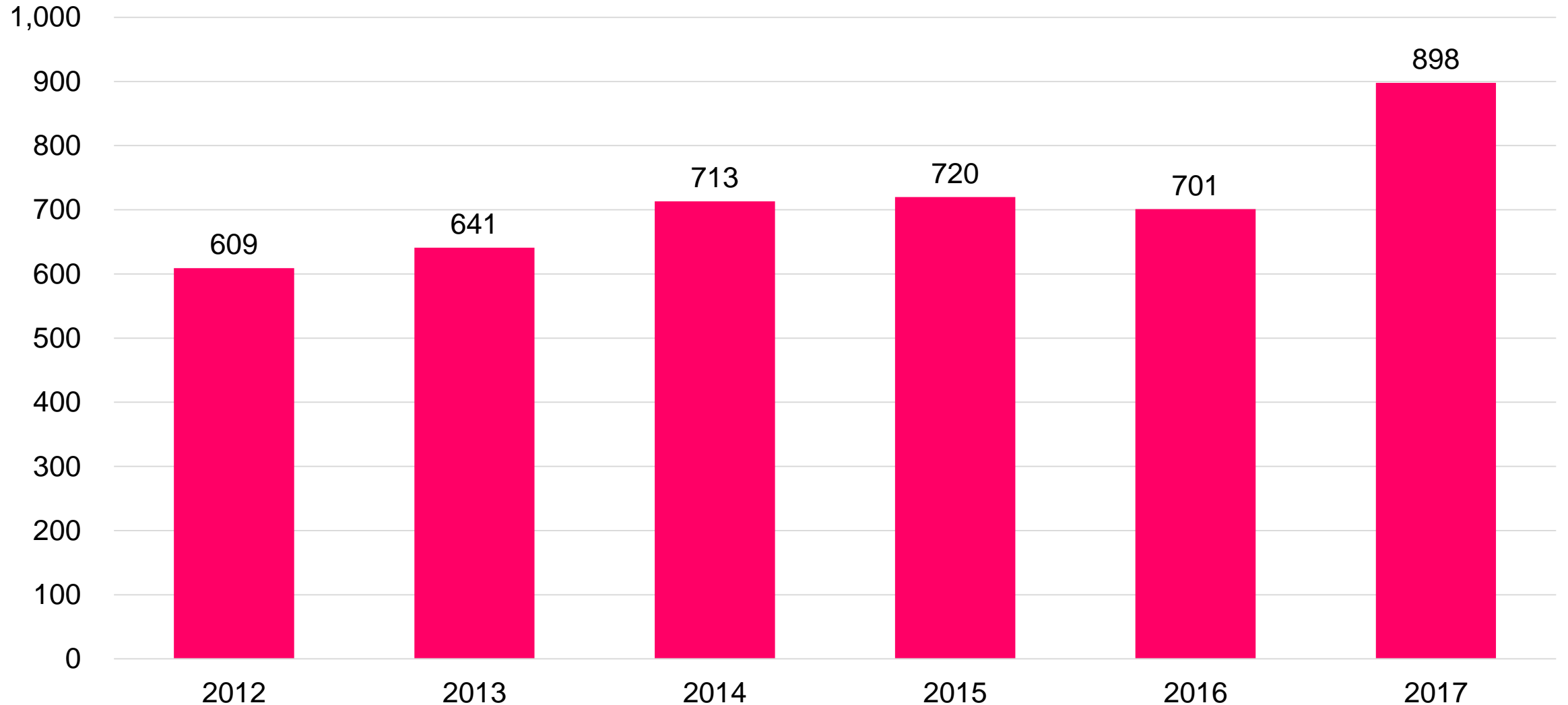
乳房の悪性新生物一年齢分布 2012-2017





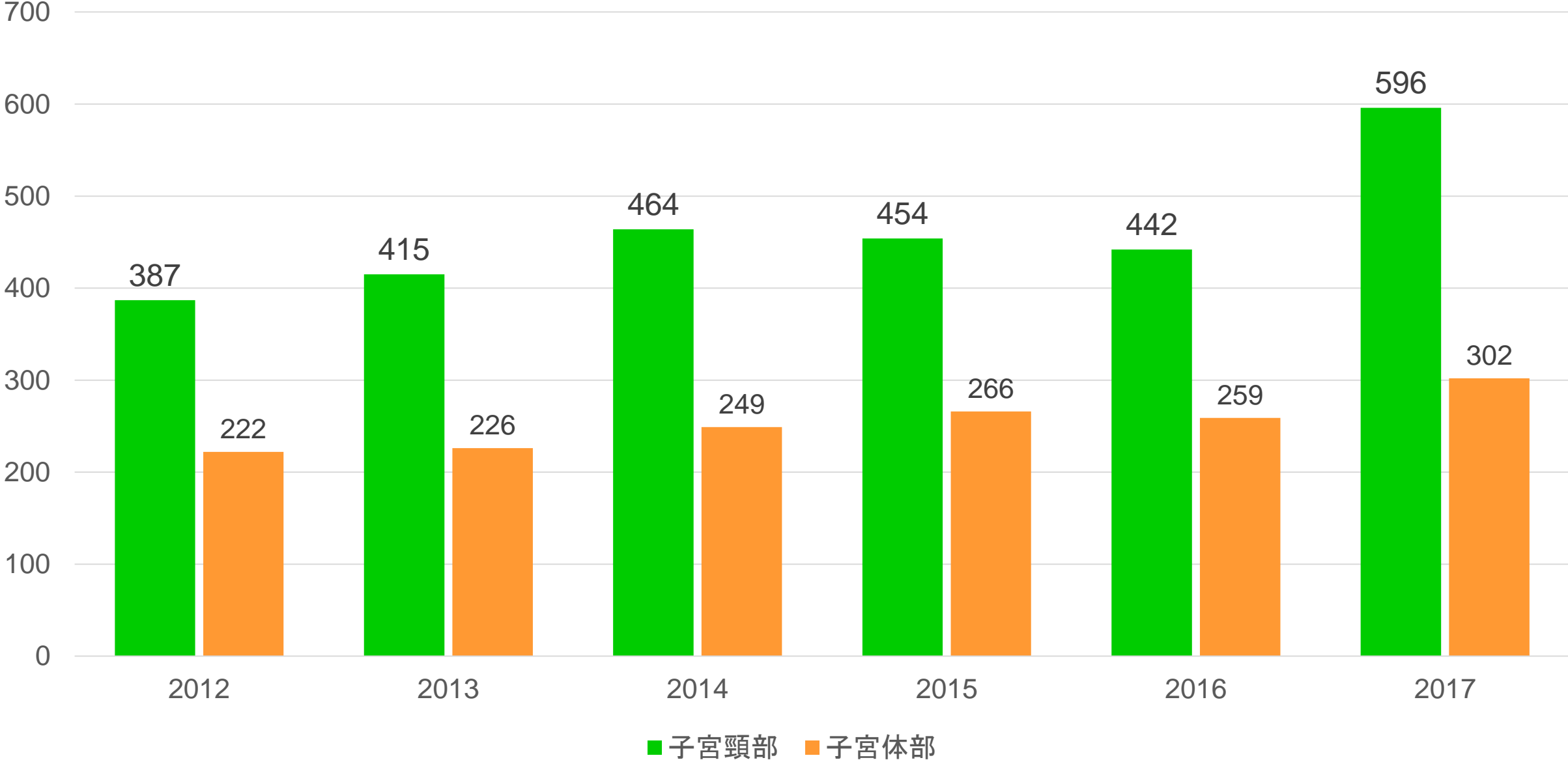
子宮の悪性新生物

子宮の悪性新生物 2012-2017

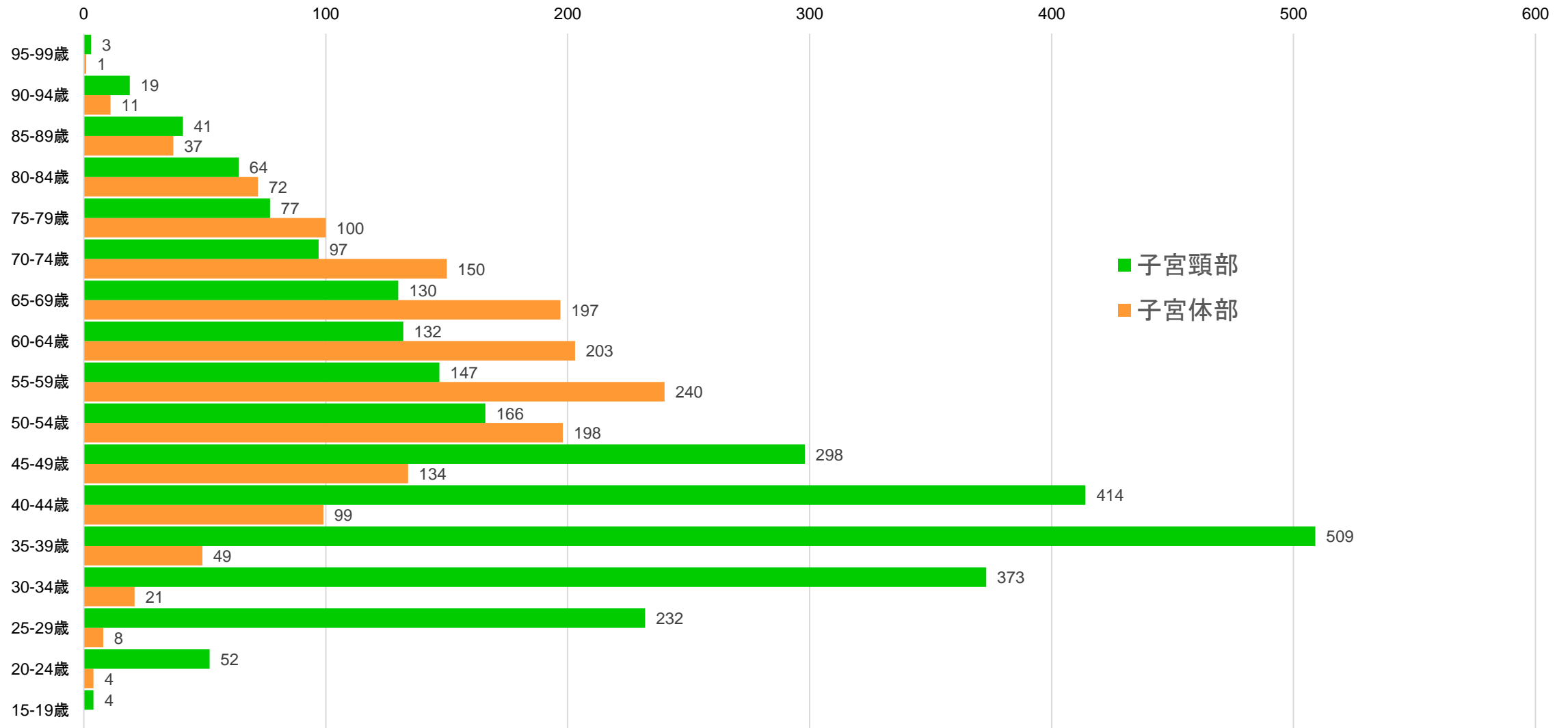


子宮の悪性新生物の登録数は増加傾向です

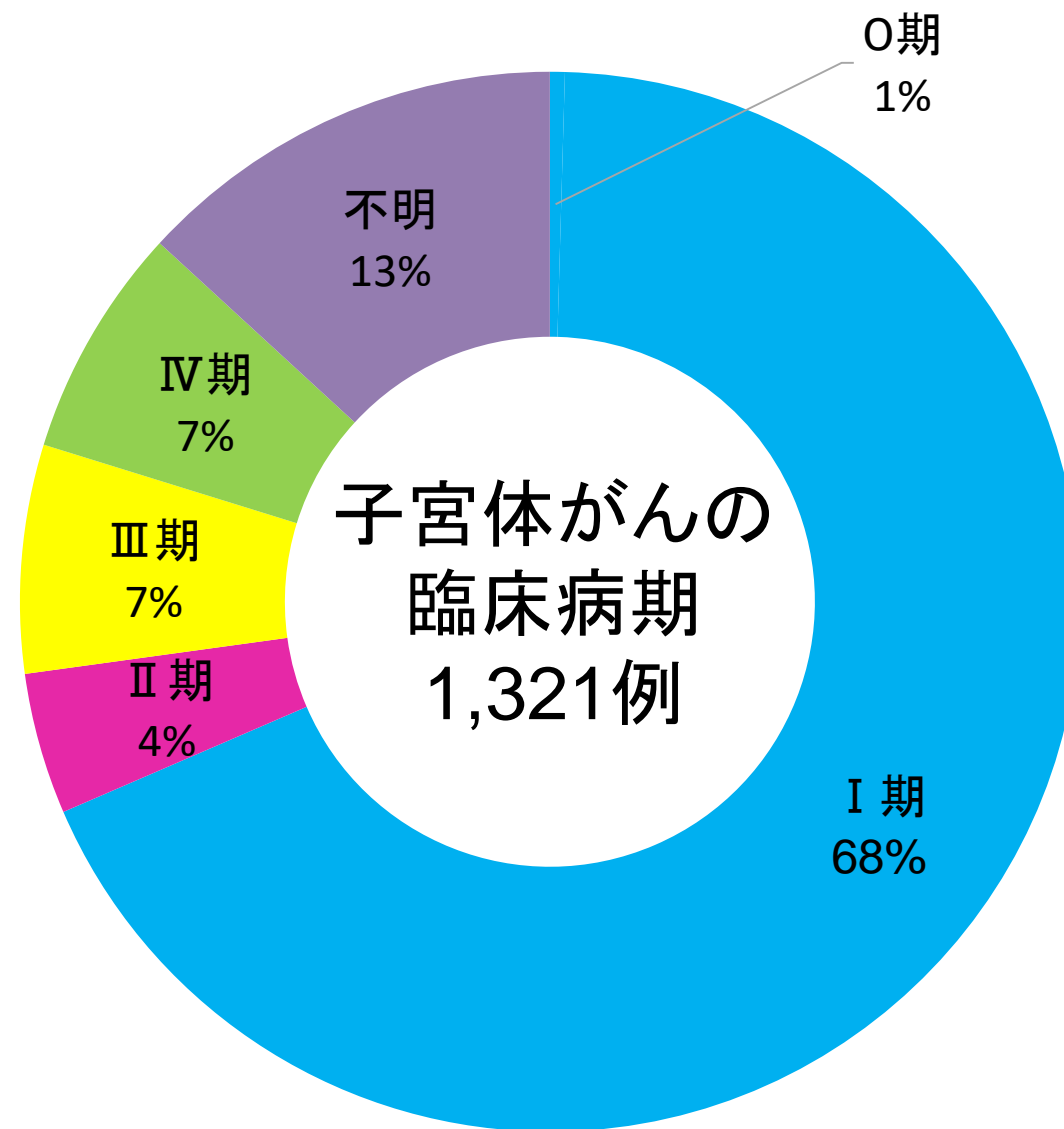
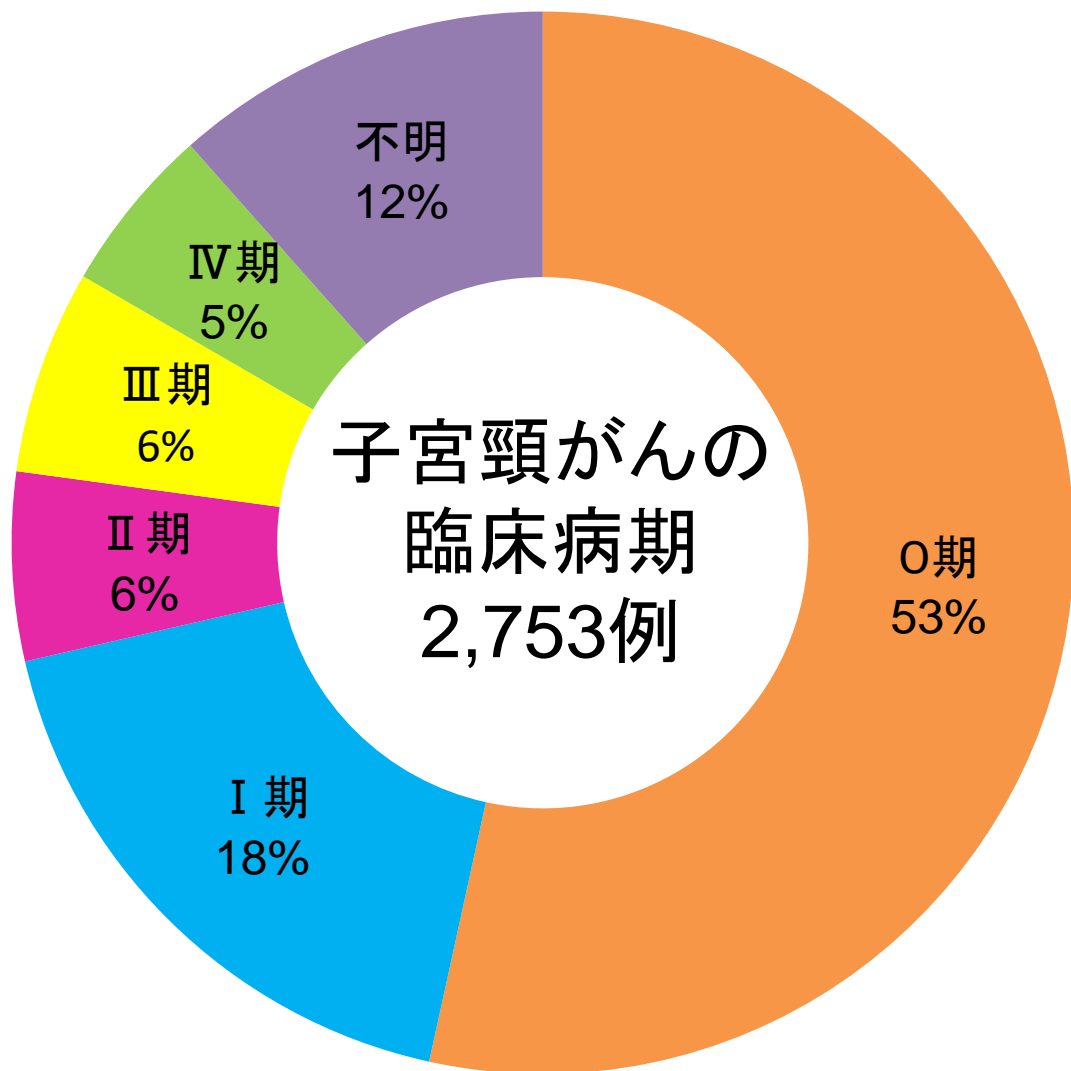
子宮の悪性新生物(部位別) 2012-2017



子宮(頸部・体部)の悪性新生物一年齢分布 2012-2017

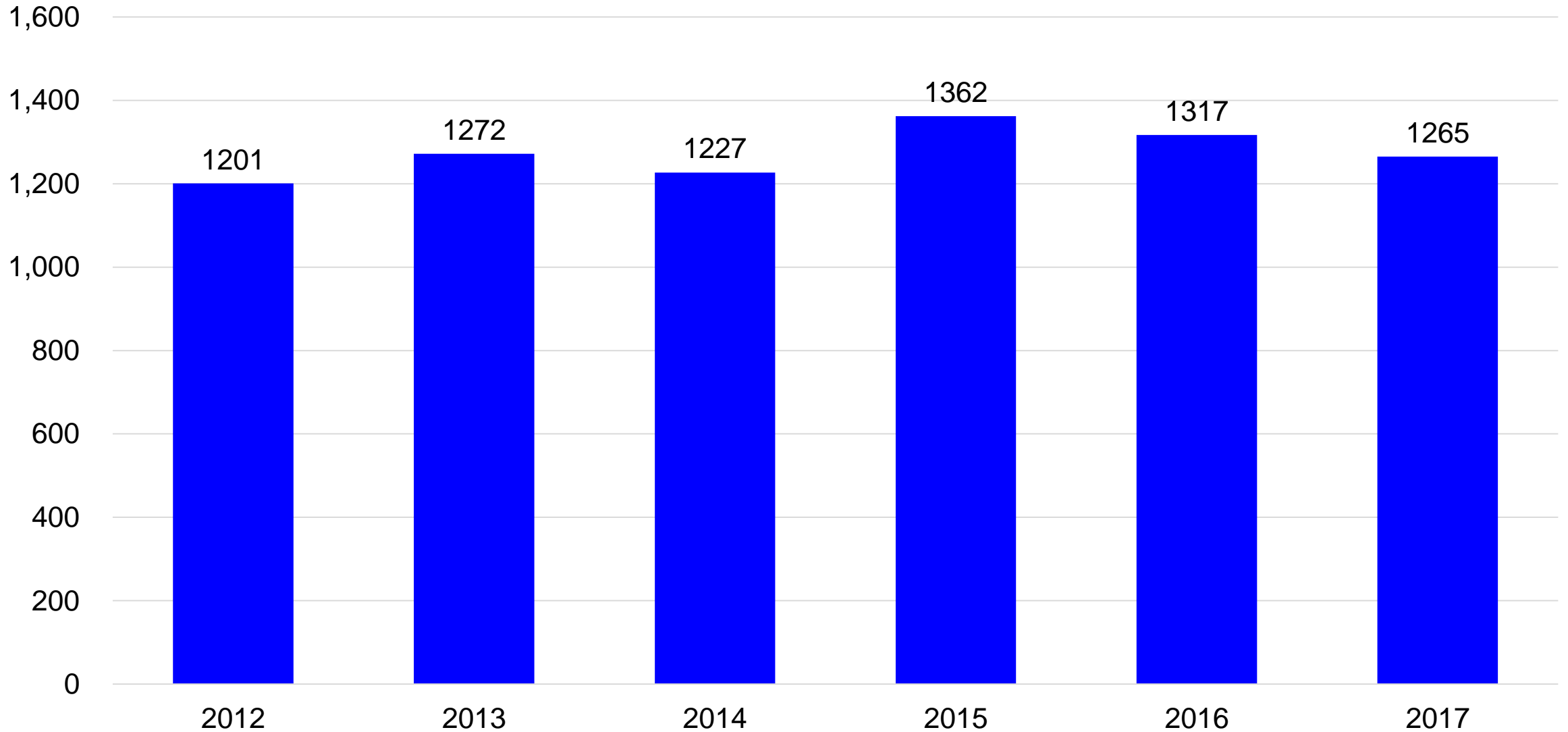


子宮頸部は子宮体部に比べ、比較的若年女性に頻度が高いといえます

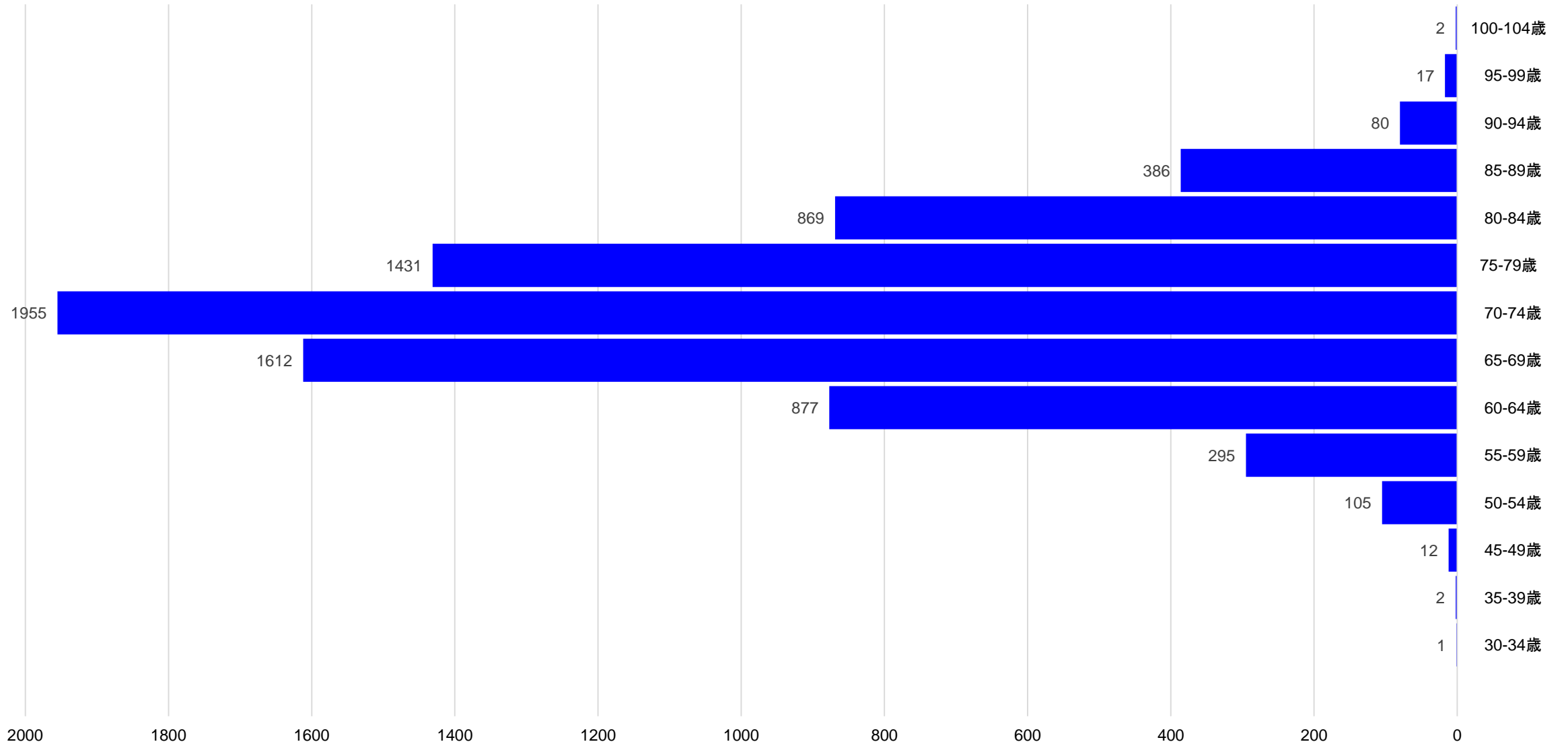


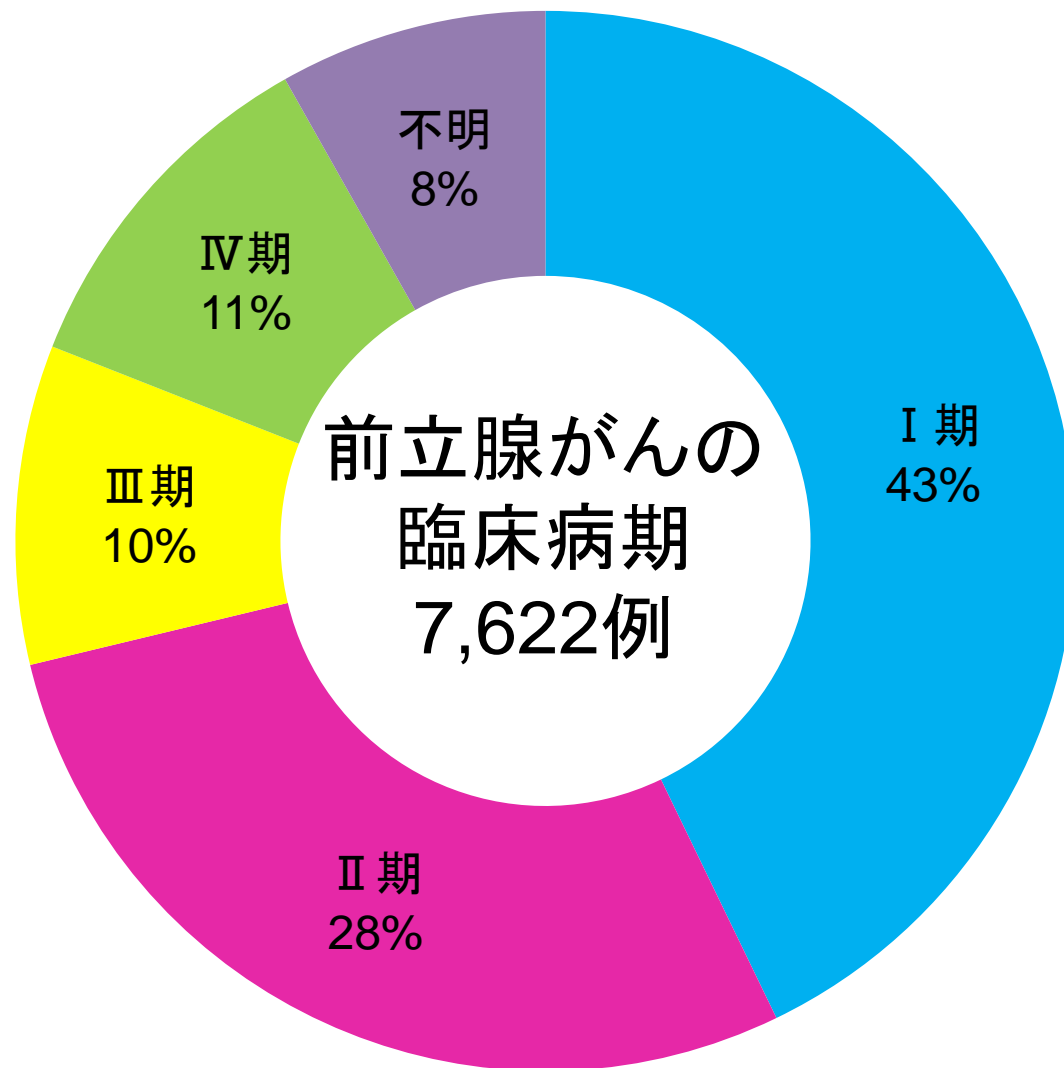
前立腺の悪性新生物

前立腺の悪性新生物 2012-2017



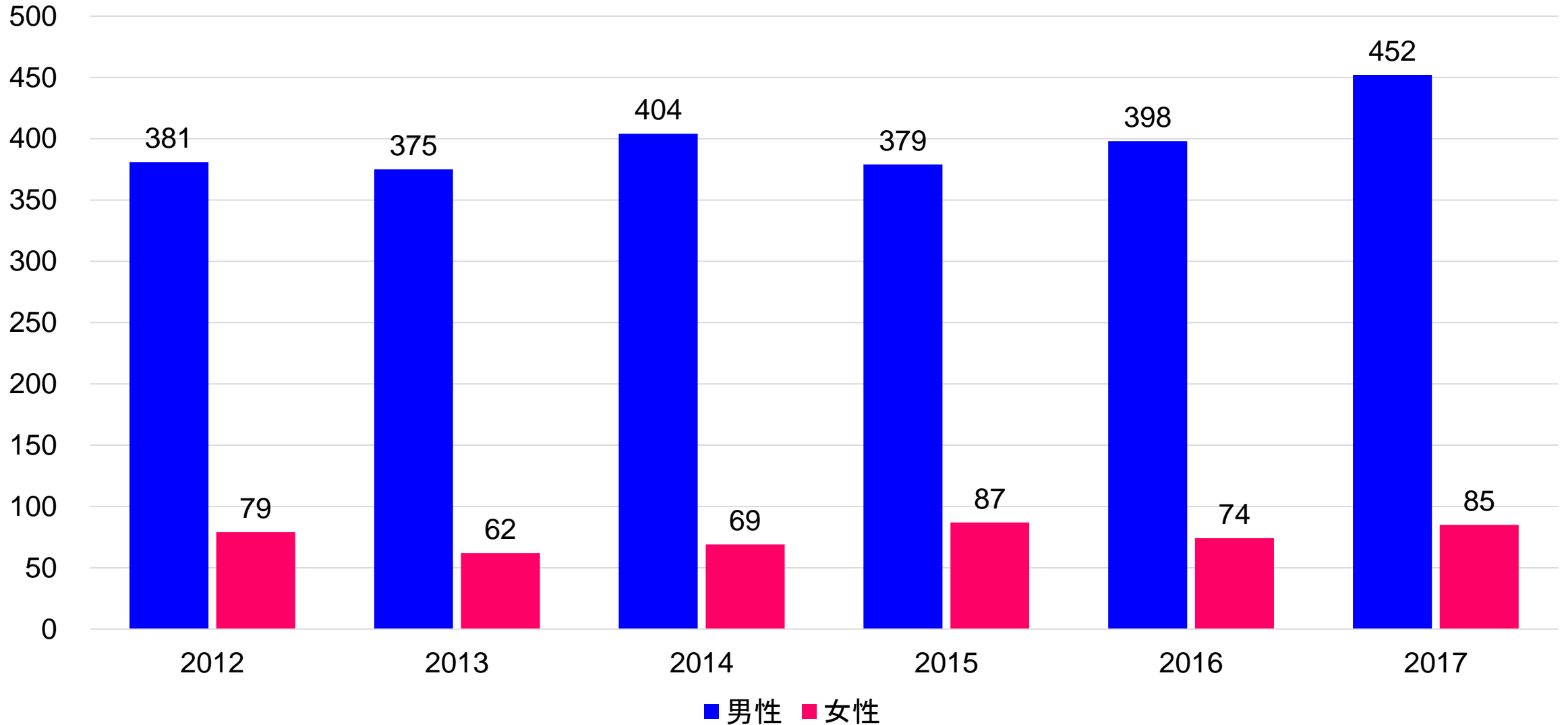
前立腺の悪性新生物一年齢分布 2012-2017



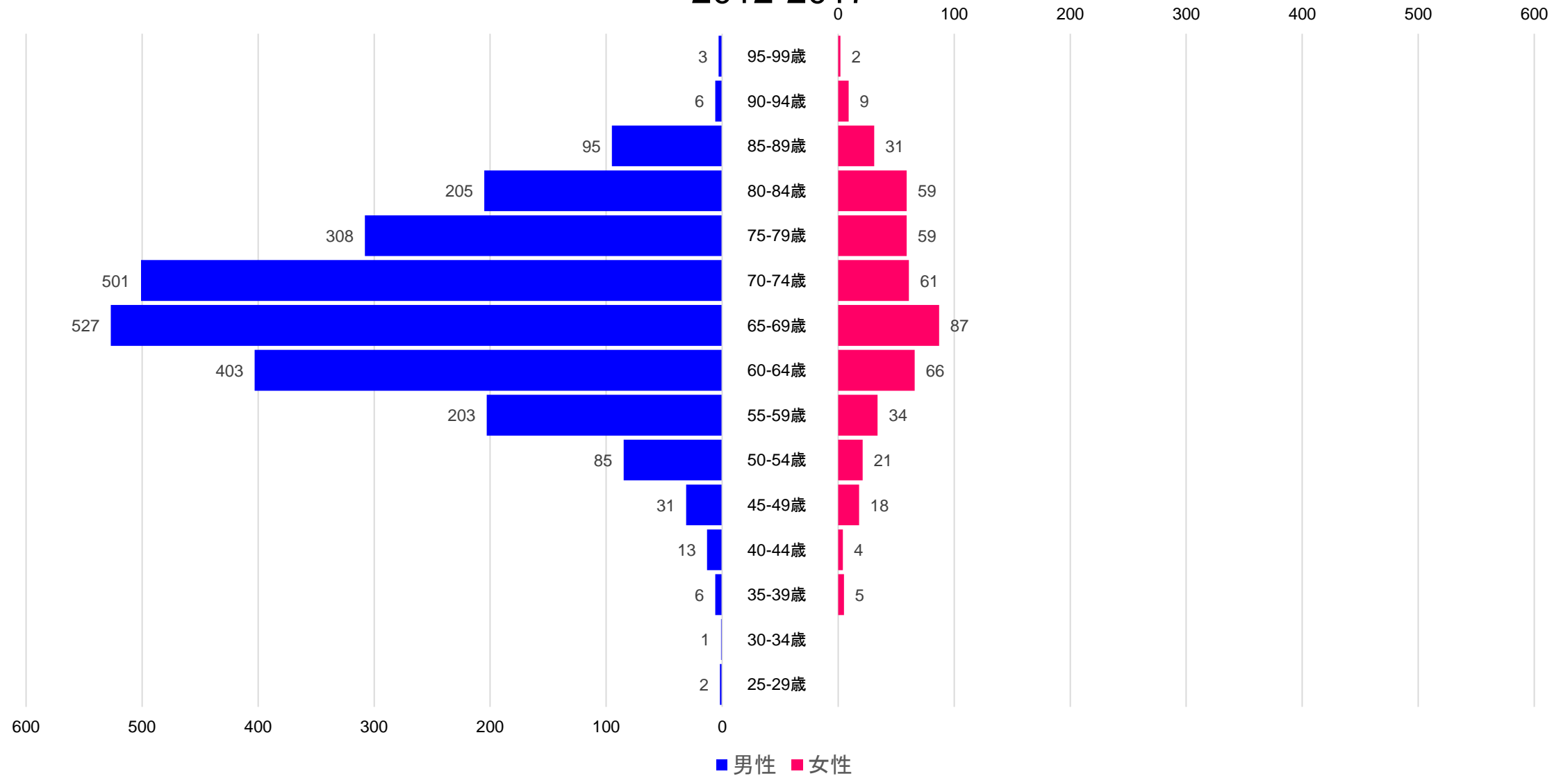


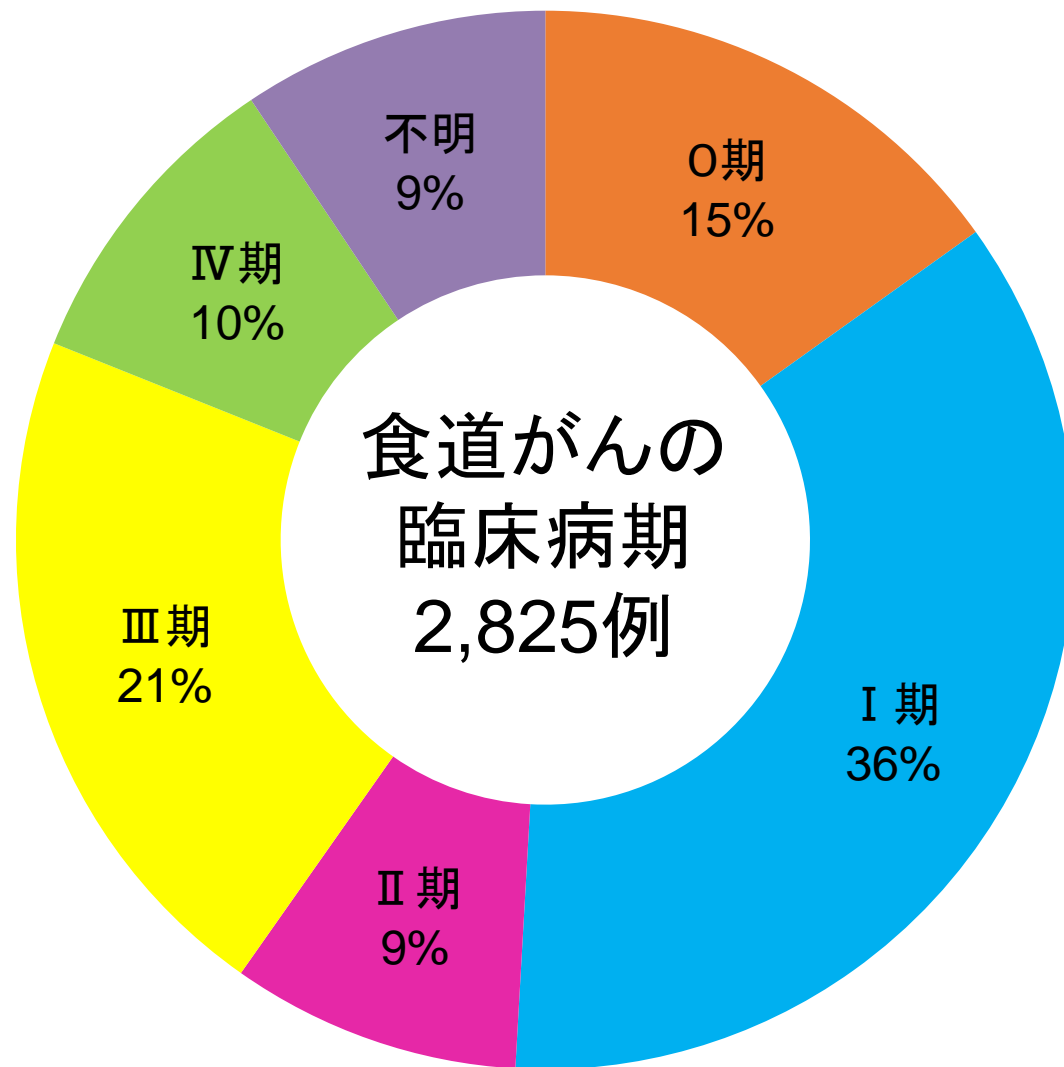
食道の悪性新生物

食道の悪性新生物 2012-2017



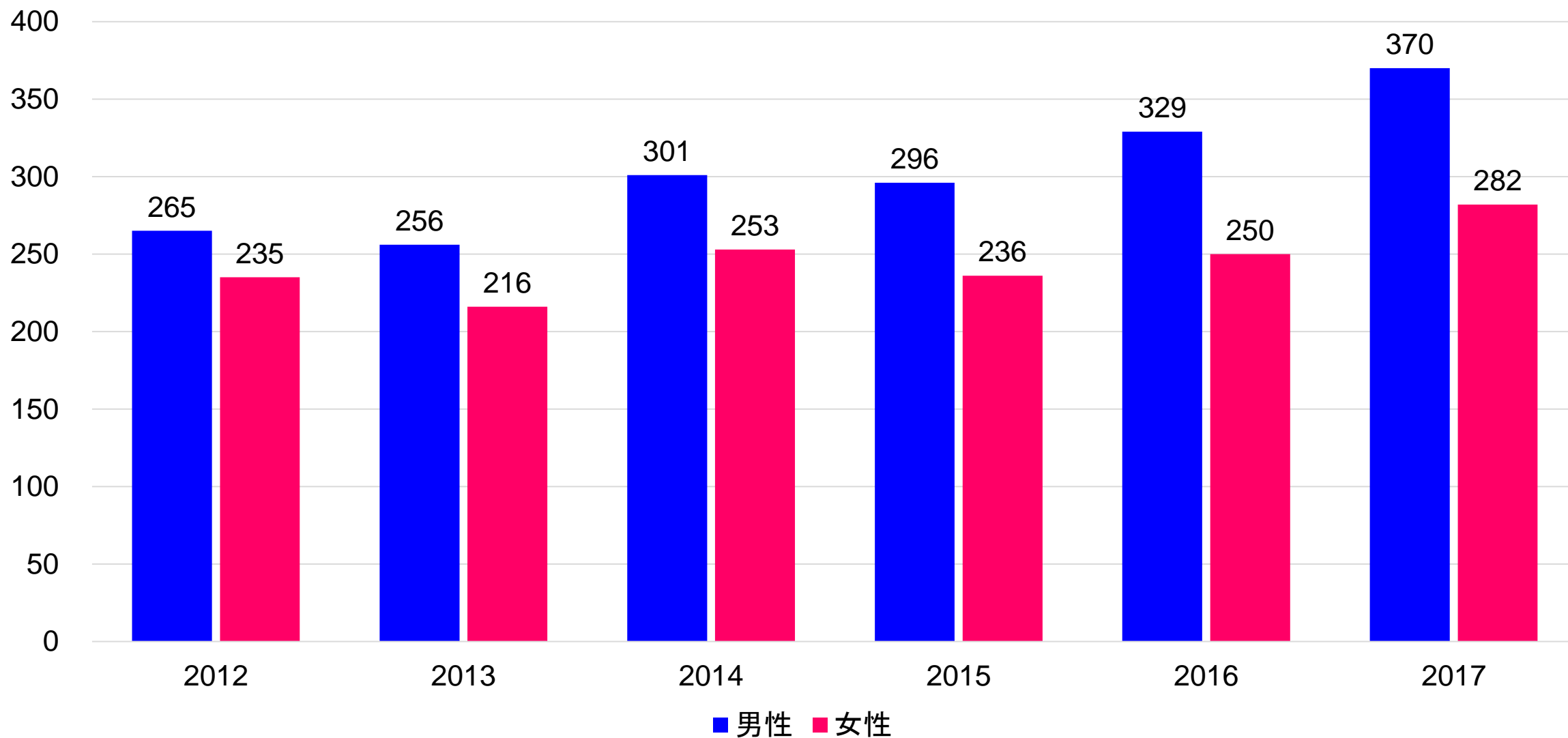
食道の悪性新生物一年齢分布 2012-2017



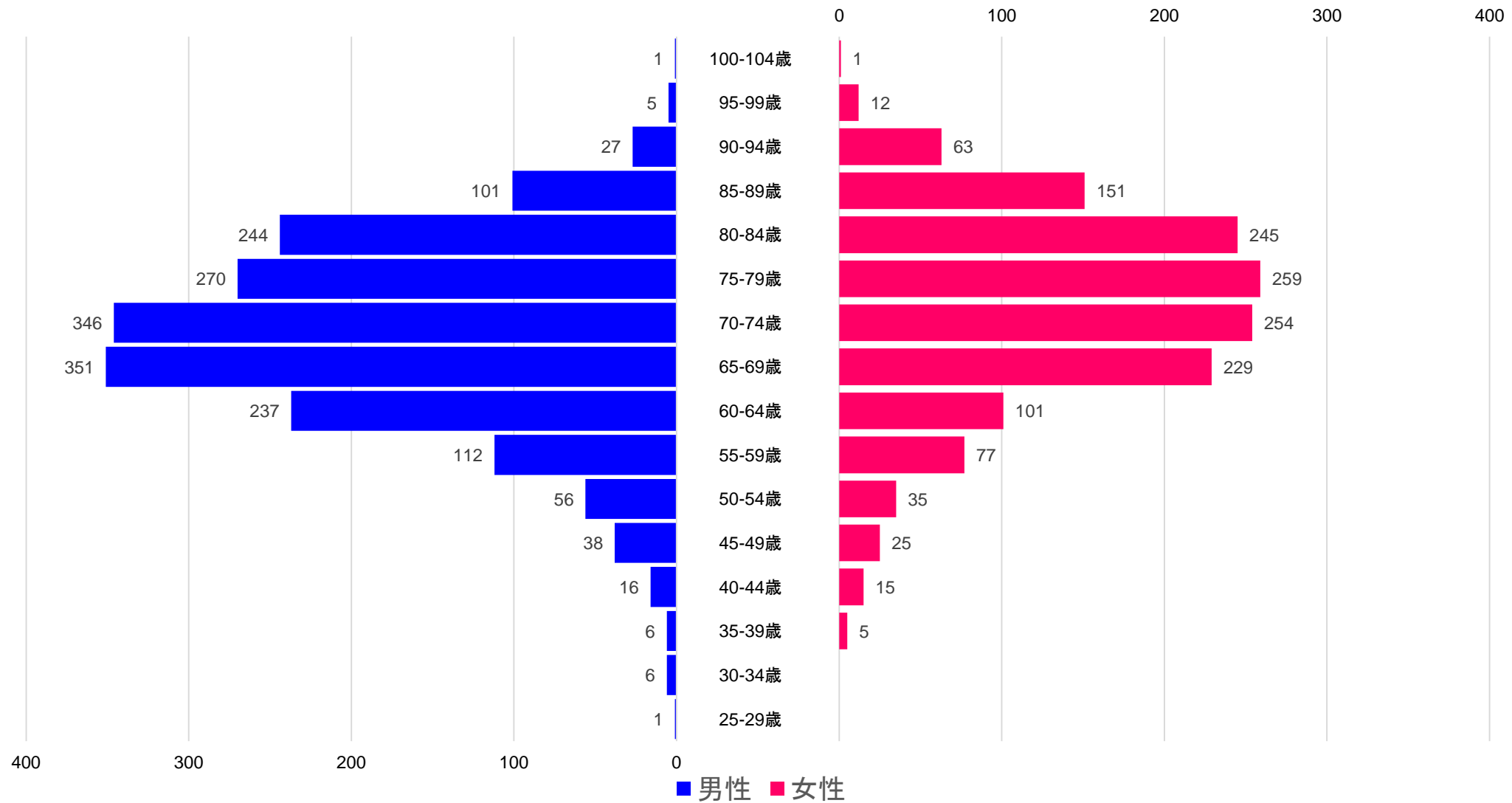


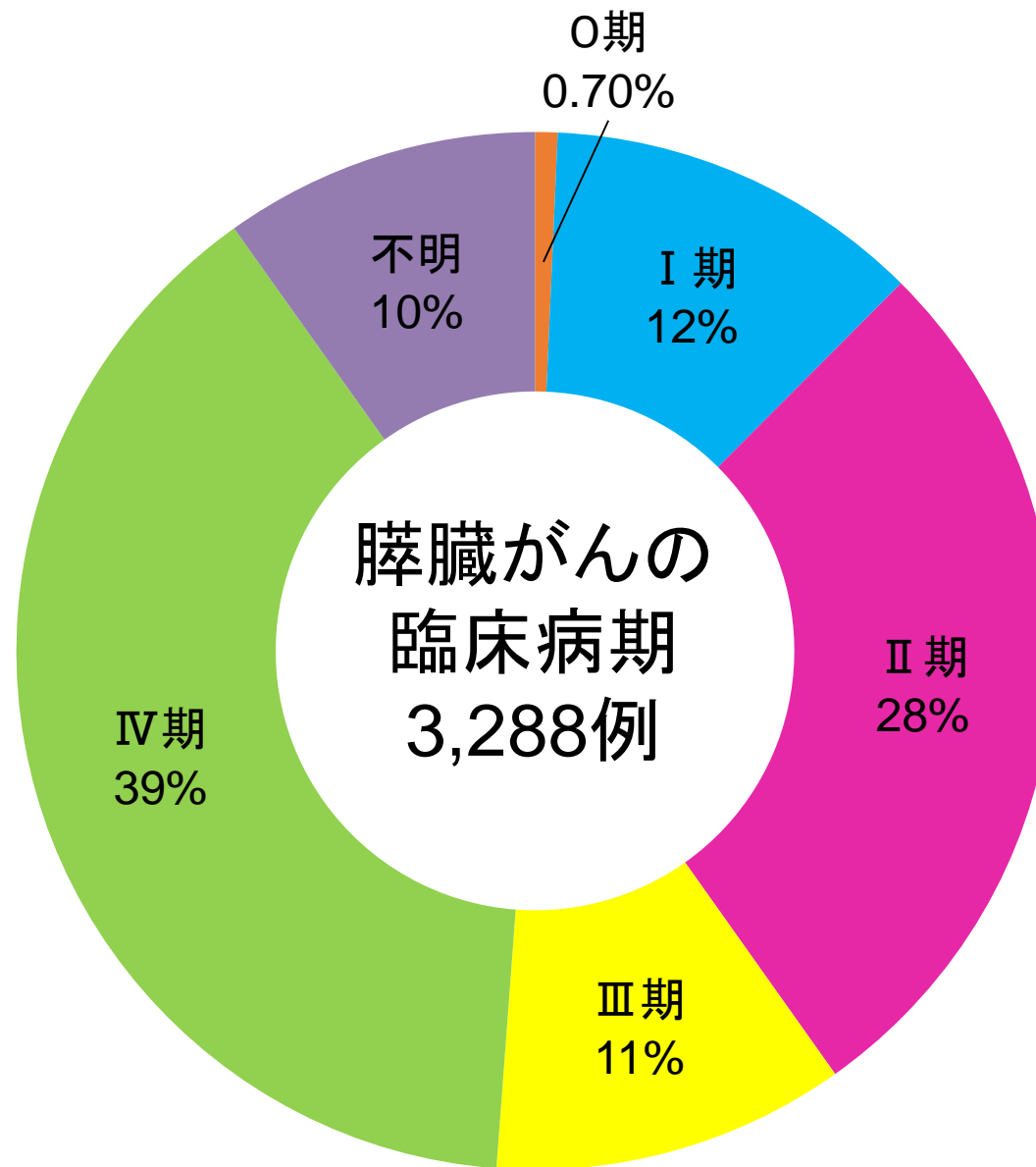
膵臓の悪性新生物

膵臓の悪性新生物 2012-2017



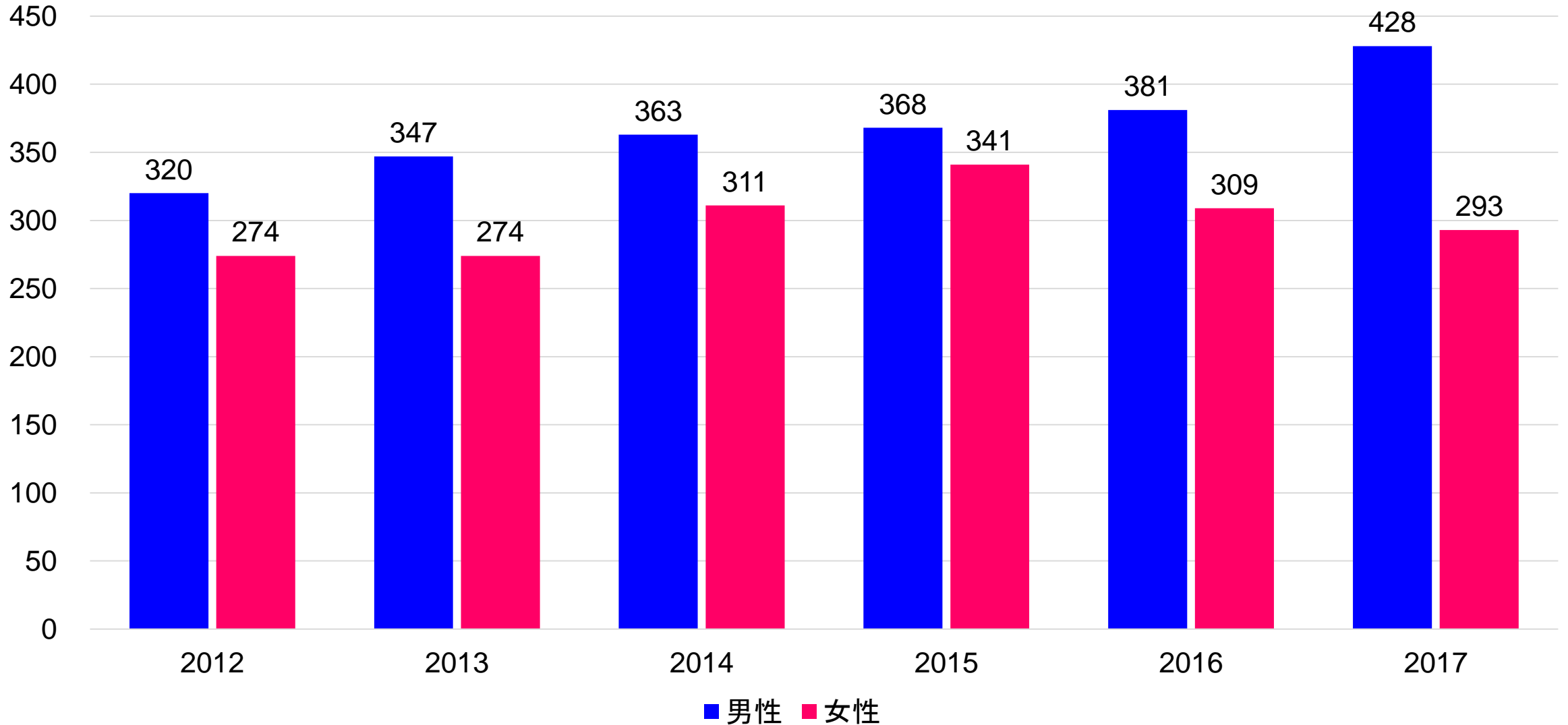
膵臓の悪性新生物一年齢分布 2012-2017





悪性リンパ腫

悪性リンパ腫 2012-2017



悪性リンパ腫一年齢分布 2012-2017

